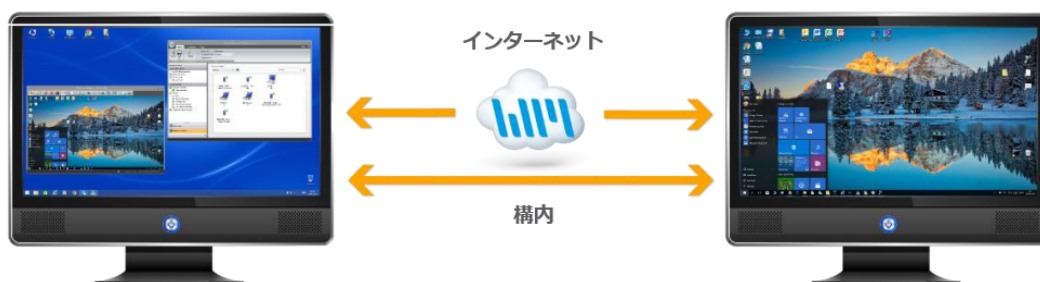


WiseMo Windows ゲストガイド

WiseMo ゲストモジュール

WiseMo ホストモジュール



WiseMo は、コンピューターとデバイス間、たとえば PC、サーバー、Mac コンピューター、スマートフォン、タブレット、その他の小型端末または無人のデバイス間をリモート制御するためのソフトウェアを開発しています。WiseMo ソフトウェアを使用すると、効率を向上させ、時間とお金を節約するための強力なリモートコントロールおよび管理機能を利用できます。

ゲストモジュールとホストモジュール

WiseMo ゲストモジュールは、他のコンピューターやデバイスにアクセスしてリモート制御したいコンピューターまたはデバイス上で実行されます。

WiseMo ホストモジュールはコンピューターおよびデバイス上で実行され、ゲストモジュールを使用して認証されたユーザーによる安全なアクセスを準備します。

Windows を実行している PC 用のゲストプログラム

このガイドでは、Windows ゲストプログラム (Windows PC で使用するリモートデスクトップゲストモジュール) をインストール、構成、使用、およびアンインストール方法について説明します。これにより、WiseMo ホストモジュールを実行しているコンピューターやデバイスを簡単、高速、安全にリモート制御できます。

注

このゲストガイドは、コンピューターまたはデバイスに少なくとも 1 つの WiseMo ホストモジュールがインストールされており、TCP/IP 経由で直接アクセスできる状態であることを前提としています。ホストモジュールのセットアップ方法については、そのモジュールのマニュアルを参照してください。

1 Windows ゲストプログラムのインストール

このプログラムは Windows PC にインストールします。そうすることで、PC、サーバー、Mac コンピューター、タブレット、スマートフォン、またはその他の小型端末や無人のデバイスにアクセスしてリモートコントロールすることができます。このプログラムは、Windows 11、10、8.x、7、Vista、XP で実行されます。このプログラムはすべての Windows サーバーでも実行されます。

1.1 ゲストをダウンロードする

ゲストインストールファイル (.msi ファイル) を入手します。

1.2 ゲストのインストール

インストールファイルを実行すると、インストールウィザードがライセンス条項への同意を求めるメッセージを表示します。そして、デフォルトのインストールディレクトリを変更できるようになります。

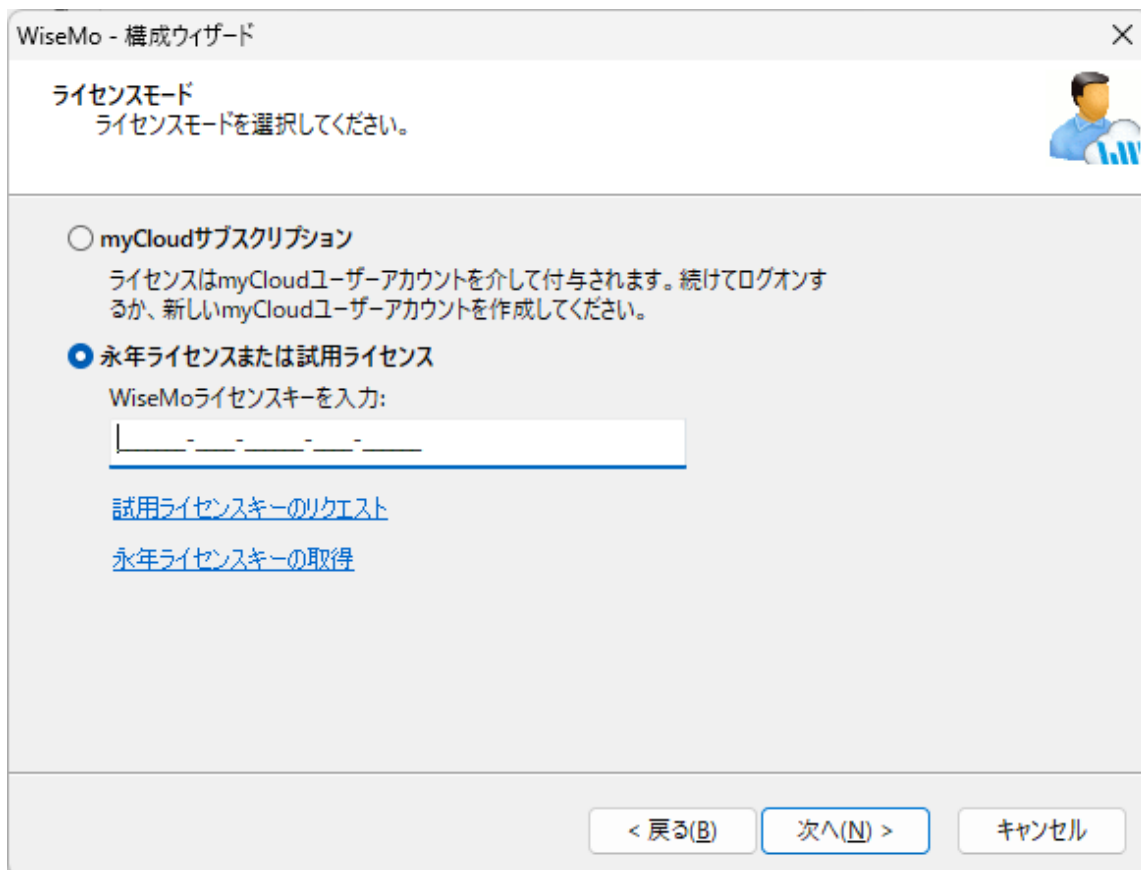
インストール後、プログラムと構成ウィザードが起動します。

1.3 構成ウィザード

構成ウィザードでは、一般的に使用される構成オプションを実行できます。後でゲストプログラムの [ホーム] タブからウィザードを開始できます。以下にウィザードページの簡単な説明を示します。どのページが表示されるかは、ウィザードでの以前の選択とゲストの全体的な状態によって異なります。

1.3.1 ライセンスモードの選択

guest.lic ライセンス ファイルが見つからない場合、ウィザードはライセンスの種類を選択するように求めますので、[永久ライセンスまたは試用ライセンス] を選択してください。



ライセンスキー (試用版または購入した永久キー) を入力して、プログラムの使用を許可します。ライセンスキーフィールドにキーを貼り付け、[次へ] を押下します。

ライセンスキー方式を使用すると、インターネットにアクセスできない環境でもプログラムが動作できるようになります。

1.3.2 ユーザーインターフェースのオプション

ゲストの一部のデフォルトオプションを変更することもできます。これらはプログラムのユーザーインターフェースで後から変更することもできます。詳細については [セクション9](#) で説明します。

1.3.3 設定の完了

[完了] ボタンを押して構成を完了すると、プログラムがウィザード経由でライセンスを取得した場合は、「ライセンスは正常に適用されました」というメッセージ画面が表示されます。設定ファイル guest.xml とライセンスファイル guest.lic が保存/更新されます。これらのファイルの場所については、[セクション10](#) を参照してください。ウィザードを途中で終了すると、プログラムの実行ライセンスが付与されず、デフォルト設定への変更が有効にならない可能性があります。[ホーム] タブを選択し、[ウィザード] ボタンを押下することで、ゲストからウィザードを再度実行できます。

2 ゲストプログラムの使用

Windows ゲストプログラムは、有人および無人のリモートコンピューターおよびデバイスの管理とサポートを可能な限り効率的に行うのに役立つ多くの機能を提供する強力なツールです。

2.1 接続の例

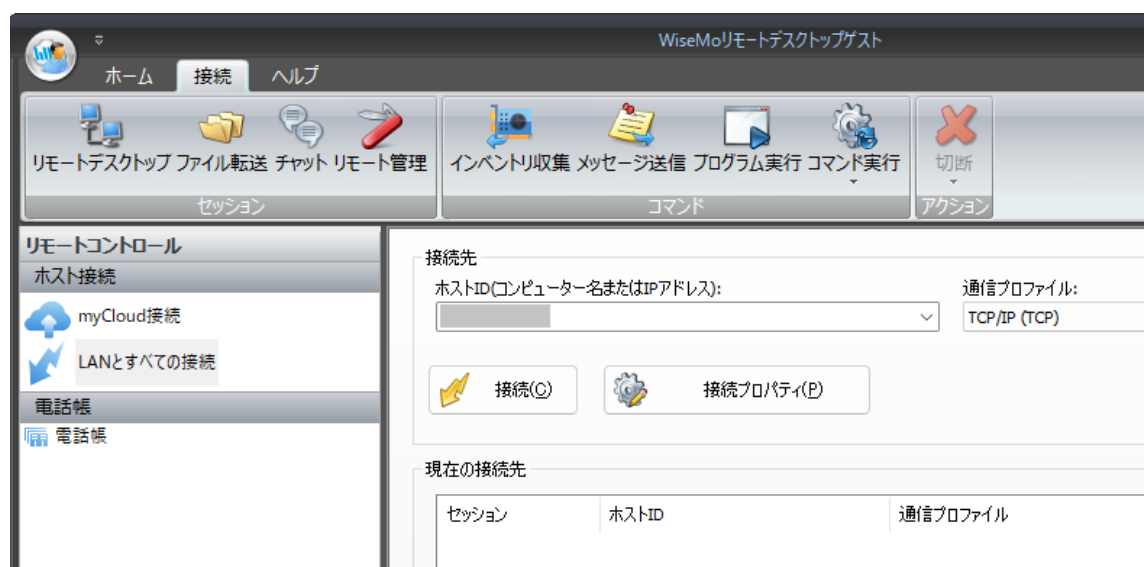
ゲストプログラムは、単純なタスクだけでなく、非常に高度なタスクにも使用できます。ここでは、プログラムのデフォルト設定を使用した簡単な接続の例をいくつか示します。

2.1.1 TCP/IP 経由のリモートデスクトップ制御

TCP/IP ネットワーク上のリモートコンピューターまたはデバイスを制御するための一般的かつ迅速な方法は、IP アドレスまたはコンピューター名を指定して接続します。

左側のペインにあるメニューから [LANとすべての接続] を選択します。

[ホスト ID] フィールドに IP アドレスを入力します。

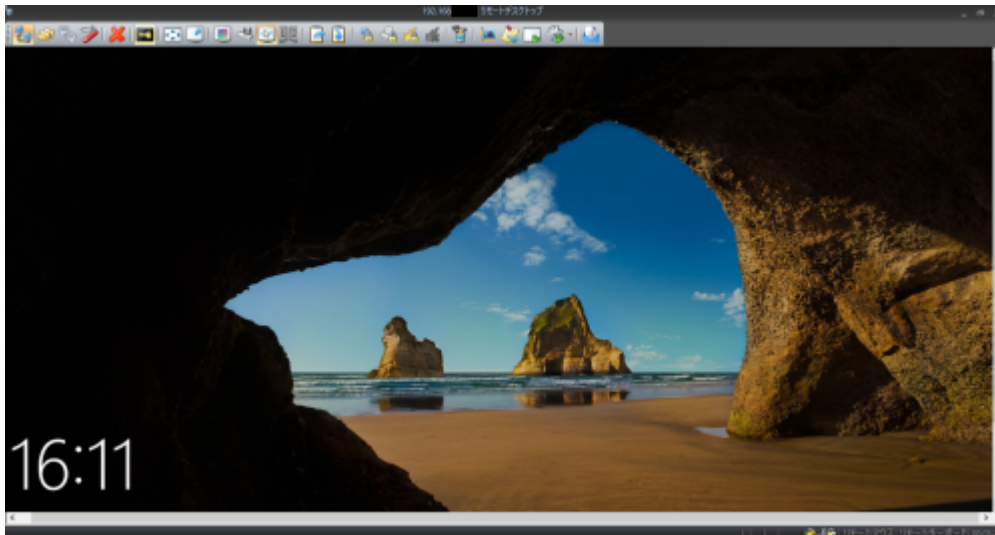


[接続] ボタンを押します。



(または、上部の [接続] タブにある [リモートデスクトップ] ボタンをクリックします)。

プログラムは、リモートコンピューターまたはデバイス上で実行されている WiseMo ホストモジュールに接続します。PC 上で別のウィンドウが開き、リモートデスクトップが表示されます。



ウィンドウを選択して、離れたコンピューターのリモート制御を開始します。ゲストコンピューターのマウスとキーボードの入力は、リモートのホストコンピューターまたはデバイス上で実行されます。



このボタンをクリックして、ホストへ Ctrl-Alt-Del を渡します。たとえば、Windows PC でログイン画面をアクティブにします。



簡単に拡大縮小して、ウィンドウ内に完全なリモートデスクトップを表示できます。(リモート制御中に利用可能なすべてのオプションについては、[セクション3.1](#)を参照してください。)

2.1.2 スマートフォンまたはその他の種類のデバイスのリモート制御

スマートフォン、タブレット、またはハンディースキャナーなどのデバイス上で実行されているホストに接続すると、リモート画面だけでなく、スキンと呼ばれるデバイス自体の画像も表示されます。





スキン上のボタンがアクティブになるため、デバイスを手に持っているかのように、PC からリモートデバイスを簡単に制御できます。マウスでボタンをクリックするだけです。

または、PC キーボードを使用して、テキストを入力するなど、キーストロークをデバイスに渡します。リモートデスクトップ画面で PC のマウスをクリックして、たとえばアプリのアイコンをクリックします。

初めてデバイスに接続するときに、ゲストはスキンをダウンロードします (利用可能な場合)、利用できない場合はデフォルトのスキンが使用されます。

スキンを表示せず、リモートデスクトップのみを表示するようにプログラムを構成できます。この状況では、ホーム、戻る、サウンドの上下など、デバイス固有のキーを渡すためのツールバーボタンを使用します。スキンを透過モードで表示するオプションもあります。この状況では、スキンはウィンドウフレーム内に表示されませんが、デスクトップ上にフローティングします。スキンを右クリックしてメニューにアクセスします。

2.1.3 コマンドラインからのリモート制御

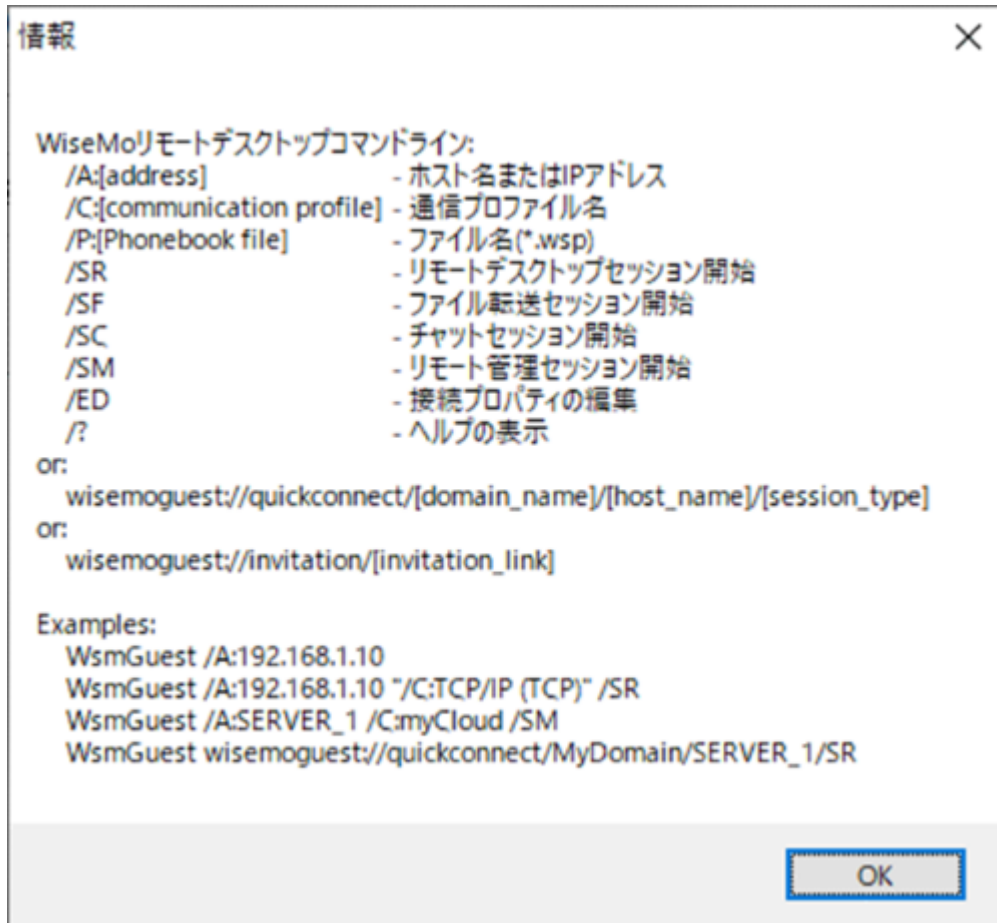
コマンドライン経由でホストに接続できます。

たとえば、DOS ボックスを開き、ゲストを含むフォルダーに移動します。

例) C:\Program Files (x86)\WiseMo\WiseMo RSM\Remote Desktop Guest

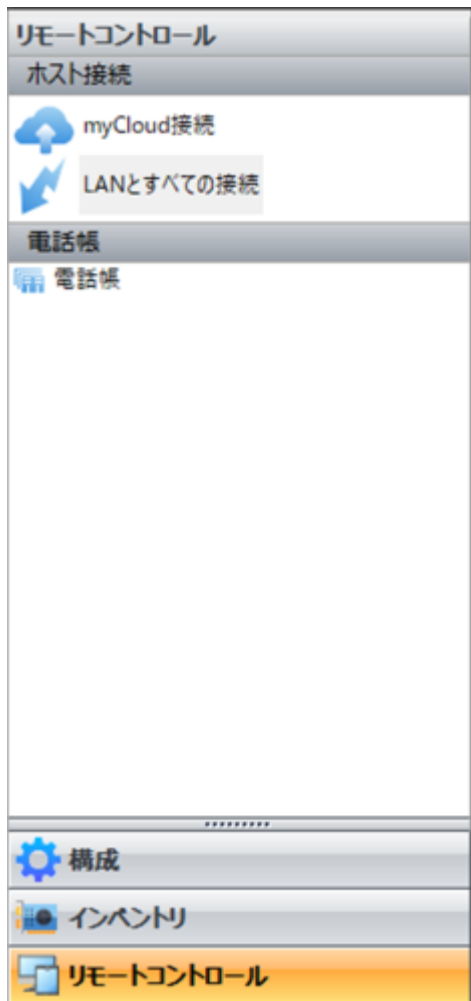
そして、wsmguest /? コマンドを実行します。

ゲストがロードされ、コマンドラインオプションと例を含む画面が表示されます。



2.2 ゲストの構成

ゲストモジュールは、上部にボタンのあるリボンツールバーと、左側のペインのナビゲーションバーで構成されています。ナビゲーションバーに表示されるメニューは、選択したメニューカテゴリによって異なります。メニューカテゴリはナビゲーションバーの下部で選択され、リモートコントロールとインベントリのどちらかを選択できます。各メニュー項目の詳細が右側のペインに表示されます。



ナビゲーションバー

主なカテゴリはリモートコントロールです。ここで、接続するホストを定義して選択します。さまざまな構成オプションにもアクセスできます。

[ホスト接続]

ホストを選択または定義するための2つの方法

[LANとすべての接続]

このビューには、現在の接続がすべて表示されます。また、アドレスを入力するだけで特定のホストに接続することもできます。

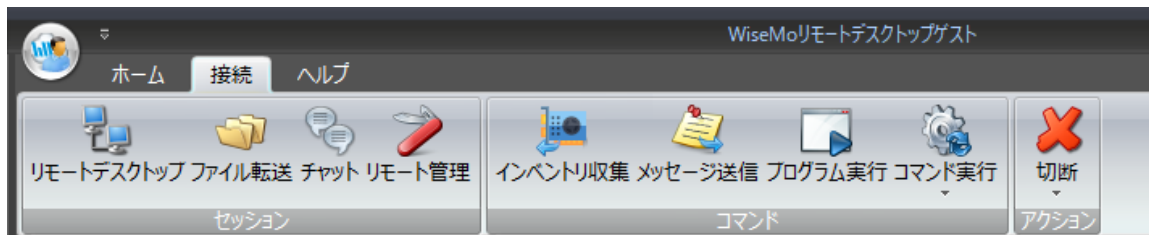
[電話帳]

これには、階層フォルダーベースの電話帳が含まれており、個別の接続プロパティを使用してホストエントリを定義し、ホストエントリをグループ化できます。

[構成]

プログラムとその使用を最適化するためのさまざまなオプション。詳細については、[セクション9](#)を参照してください。

上部のリボンツールバーには3つの**タブ**があります。

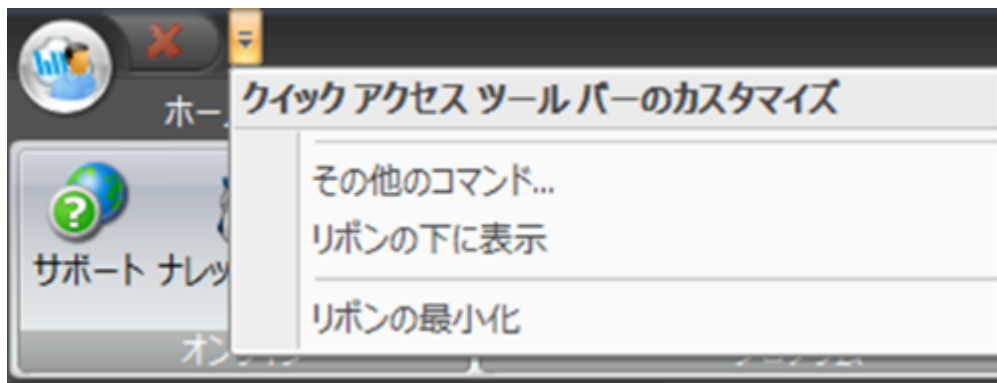


[ホーム] タブは主に言語の選択に使用され、**[ヘルプ] タブ**はサポートやその他のリソースへのアクセスを提供するために使用されますが、**[接続] タブ**は通常、右側のペインで選択したホストでタスクを実行するために使用するタブです。たとえば、ゲストとホストの間でリモートデスクトップセッションやファイル転送セッションを開始します。

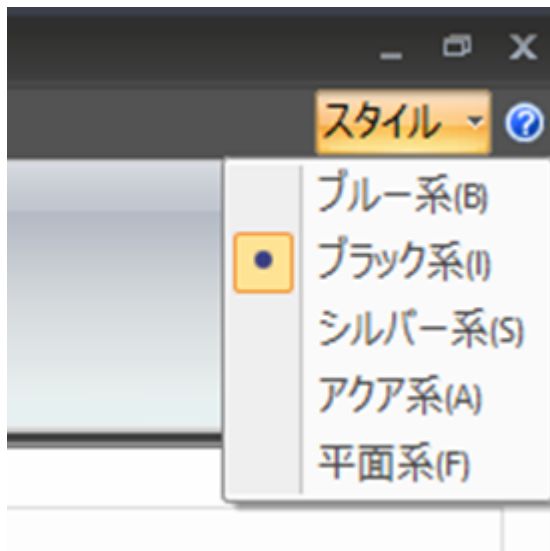
各タスクを説明するツールチップが用意されています。該当のボタンの上にカーソルを置くだけです。

リボンツールバーはさまざまな方法で構成できます。

たとえば、最小化したり、クイックアクセスツールバーにコマンドを追加できます（「切断」コマンドが追加された下図を参照）



また、ゲストアプリケーション全体の視覚的なスタイルを変更できます（下図を参照）。



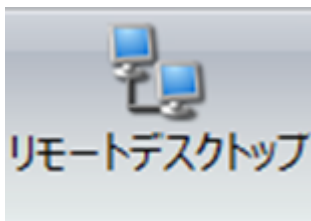
2.3 接続タスク

接続タスクは、たとえば、[接続] タブにあるボタンを使用して実行できます。右側のペインで選択したホストに対して接続タスクが実行されます。複数のホストを選択すると、選択したすべてのホストでタスクが実行されることに注意してください。

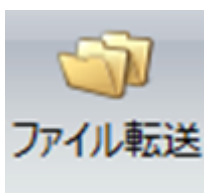
利用可能な接続タスクは次のとおりです。

セッションタスク

選択したホストとの特定のセッションを確立します。セッションは切断するまで続きます。アクティブ化されたボタンを非アクティブ化すると、すでに確立されているセッションを終了できます。



選択したホストとのリモートデスクトップコントロールセッションを開始します。ホストごとに別のウィンドウが開きます。このウィンドウにはリモートホストの画面が表示され、このウィンドウから離れたコンピューターまたはデバイスをリモートコントロールします。



選択したホストとのファイル転送セッションを開始します。

ホストごとに個別の分割画面ファイル転送ウィンドウが開かれます。そして、ゲスト PC とリモートホストコンピューターまたはデバイスの間でファイルを簡単にドラッグアンドドロップできます。詳細については、[セクション4](#)を参照してください。



選択したホストとのチャットセッションを開始します。

ホストごとに別のウィンドウが開き、リモートユーザーとのテキストメッセージを送受信できます。

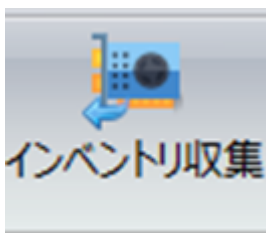


選択したホストとのリモート管理セッションを開始します。

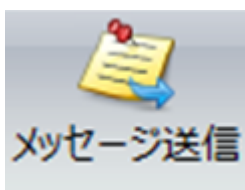
ホストごとに別のウィンドウが開き、リモート管理コンソールが表示されます。詳細については、[セクション5](#)を参照してください。

コマンドタスク

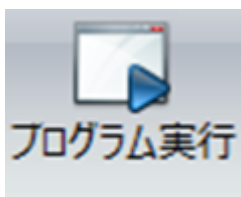
ボタンが押されると、ホストへの接続が確立され、タスクが実行され、接続が停止されます。コマンドウィンドウにコマンドの進行状況が表示されます。コマンドタスクは、複数のホストの選択に関連してよく使用されます。



ホストに接続し、ハードウェアとソフトウェアの「インベントリ」を収集します。インベントリの結果は保存され、左ペインの下部にある [インベントリ] ナビゲーションカテゴリからアクセスできます。



画面が表示され、メッセージを作成してホストに送信できます。メッセージはホストコンピューター上でユーザーによって閉じられるまで、ホスト画面に表示されたままになります。



画面が表示され、ホスト上で実行するプログラムを定義できます。たとえば、これを使用してホスト上で特定のアプリケーションを開きます。



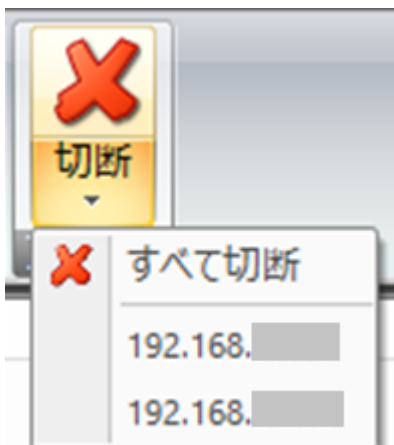
ドロップダウンメニューが表示され、ホスト上で実行する特定のコマンドを選択します。コマンドは、ロック、ログオフ、再起動、およびシャットダウンです。

切断タスク



選択したホストへのセッションを切断します。

ドロップダウンで [すべて切断] オプションを選択して、すべてのホストとのすべてのセッションを終了できます。リスト上の特定のホストへのセッションを終了することもできます。



最初の接続の確立

最初のセッションまたはコマンドタスクが実行されると、プログラムはリモートホストコンピューターまたはデバイスに接続します。ホストのセキュリティ設定によっては、パスワードの入力を求められたり、ホスト側の誰かがアクセスを許可したり拒否したりするのを待つ必要があるかもしれません。

認証方式: 共有パスワード



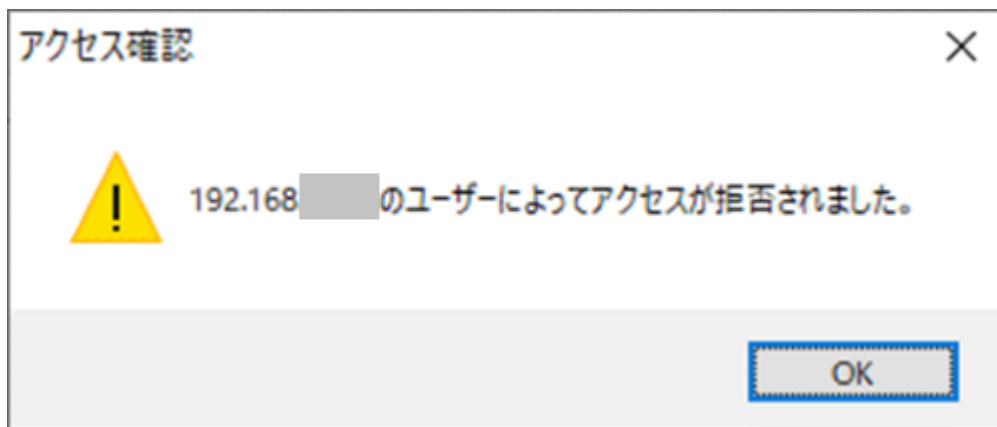
ログオン先: 192.168. [redacted]

パスワード:

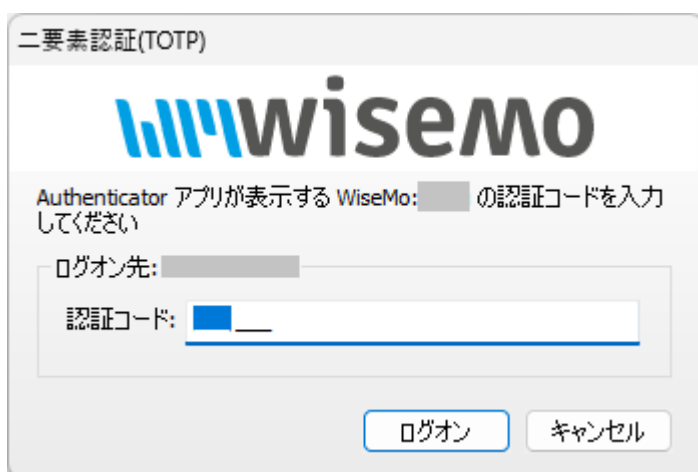
アクセス確認



192.168. [redacted] のユーザーがアクセスを確認するのを待っています。



ホストが2要素認証で保護されている場合、認証コードの入力も求められます。認証コードは通常スマートフォン（第2要素）の Google や Microsoft の Authenticator アプリなどで生成されます。



2.4 LANとすべての接続メニュー項目

現在の接続

右側のペインには、接続が確立された場所 (コマンドライン、デスクトップ、電話帳など) に関係なく、TCP/IP 接続の現在のすべての接続のリストが表示されます。

複数のセッションタスクが同時にアクティブになる可能性があるため、セッションタスクはホストごとに表示されます。

現在の接続先		
セッション	ホストID	通信プロファイル
	192.168. [redacted]	TCP/IP (TCP)
	192.168. [redacted]	TCP/IP (TCP)

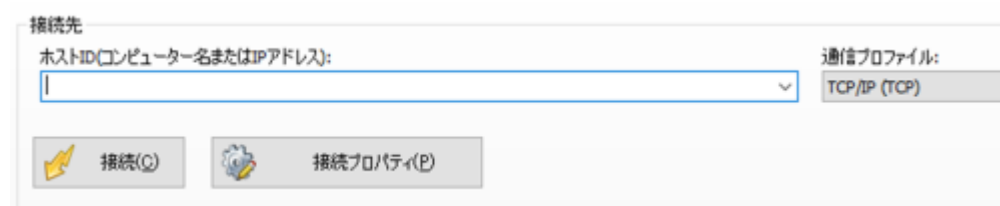
接続されているホストを選択し、右クリックするか [接続] タブボタンを使用して、別のタスクを開始するかアクティブなセッションタスクを終了します。もしくは、接続を終了してそのホストコンピューター/デバイスとのすべてのセッションを終了します。

特定のホストに接続する

これを使用して、通常は TPC/IP(ホストコンピューター/デバイスの IP アドレスまたは DNS 名) 経由で特定のホストコンピューターまたはデバイスにすばやく接続します。

a.

[ホスト ID] フィールドにアドレスを入力します。



b.

TCP/IP を選択します。

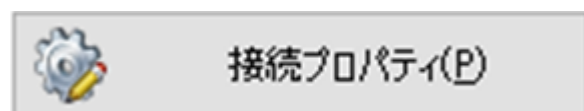
c.

[接続] タブのいずれかのボタンを押します。あるいは、[接続] ボタンを押すと、デフォルトのセッションタスク (通常はリモートデスクトップ) を使用して接続できます (デフォルトのセッションタスクは [構成] メニューで定義されます)。

使用したアドレスはホスト ID 履歴リストに保存されるため、以前接続したホストへの再接続も簡単です。接続履歴は、[構成] / [ユーザーインターフェース] メニュー項目から削除できます。

接続プロパティ

接続プロパティのデフォルト設定は、「LANとすべての接続」メニュー項目で定義されます。[接続プロパティ] ボタンを押して、デフォルトの接続プロパティを編集します。



これらの接続プロパティは、ここから行われるすべての接続に使用されますが、電話帳エントリを作成するときに、デフォルトの接続設定としても機能します。

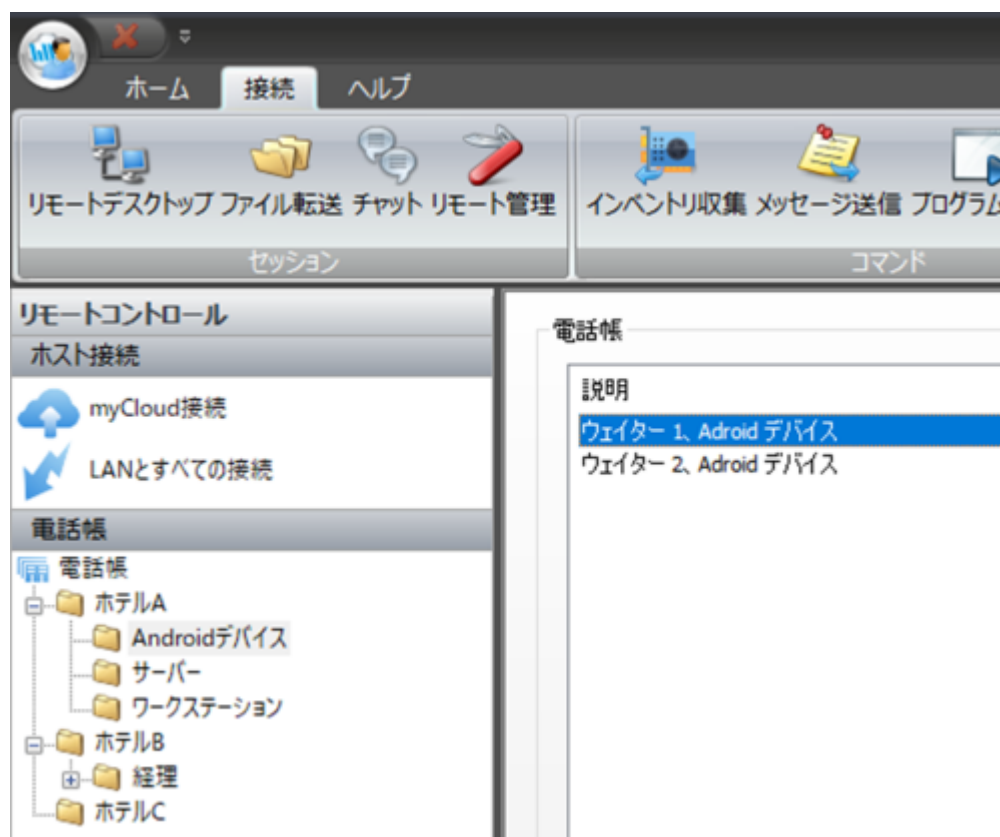
接続プロパティには、ログオン資格情報や表示設定を事前定義する機能など、さまざまな設定が含まれています。 (利用可能な設定の説明については、[セクション2.6](#)を参照してください)。

2.5 電話帳メニュー

電話帳は階層フォルダー構造であり、ホストエントリを整理し、各ホストエントリに個別の接続プロパティを提供できます。

フォルダーの作成

左側のペインで電話帳項目を右クリックして、サブフォルダーを作成します。フォルダーを右クリックして、名前の変更、削除、またはサブフォルダーの作成を行います。フォルダーを選択すると、右側のペインにホストエントリが表示されます。



ホストエントリの作成

ホストエントリは任意のレベルのフォルダに作成できます。フォルダーを選択し、右ペインで右クリックして、このフォルダーにホストエントリを追加します。各ホストエントリは別個のファイルです。

ホストエントリを右クリックして削除または編集します。

ホストエントリファイルのドラッグアンドドロップのサポートがあるため、電話帳内でホストエントリを移動またはコピーしたり、デスクトップにドラッグしたりできます。

電話帳のルートフォルダの場所は、構成セクション (全般 > フォルダ) で定義できます。

これは、複数のゲストユーザー間で共有できる電話帳をサーバー上に定義するために使用できます。

ホストエントリの編集

The screenshot shows a Windows-style dialog box titled "接続プロパティ" (Connection Properties). It has a close button (X) in the top right corner. Below the title bar is a tabbed interface with four tabs: "ディスプレイ" (Display), "デスクトップ最適化" (Desktop Optimization), "入力" (Input), and "暗号化" (Encryption). The "接続" (Connection) tab is currently selected. Under this tab, there are sub-tabs: "接続" (Connection), "ログオン" (Logon), "リモートデスクトップウィンドウ" (Remote Desktop Window), and "アクション" (Action). The "接続" sub-tab is active. It contains two main sections: "接続設定" (Connection Settings) and "情報" (Information). In the "接続設定" section, there is a text box for "ホストID(IPアドレスまたはコンピューター名):" (Host ID (IP address or computer name:)) and a dropdown menu for "通信プロファイル:" (Communication profile:) currently showing "TCP/IP (TCP)". In the "情報" section, there are two text boxes for "説明:" (Description) and "コメント:" (Comment). At the bottom of the dialog are "OK" and "キャンセル" (Cancel) buttons.

各ホストエントリには、ホスト ID、説明、および接続プロパティが含まれます。また、オプションのコメントも含まれます。

少なくとも、ホスト ID を入力する必要があります。ホスト ID が説明として複製され、変更できます。また、デフォルトの接続プロパティが使用されます。

(利用可能な設定の説明については、[セクション2.6](#) を参照してください)。

ホストへの接続

1.

ホストエントリをダブルクリックして、リモートデスクトップセッションタスクを開始します。(デフォルトのセッションタスクは、[構成] メニューで定義されます)。

2.

ホストエントリを右クリックし、ポップアップメニューから実行したいタスクを選択することもできます。各項目の説明は [セクション2.3](#) を参照してください。



3.

フォルダー内の1つ以上のホストを選択し、[接続] タブのボタンを使用してタスクを選択できます。たとえば、3つのホストからインベントリを収集するには、3つのホストを選択して[インベントリ収集] ボタンを押します。また、コマンドの実行/ログオフを使用して3つのホストすべてで Windows からログオフします。

4.



電話帳のホストエントリは、Windows フォルダだけでなく、PC のデスクトップにも配置できます。このような電話帳ファイルから直接接続することができます。ダブルクリックしてデフォルトの接続をするか、右クリックして実行可能なセッションタスクのメニューを表示します。

2.6 接続プロパティ

接続プロパティは、リモートコンピューターまたはデバイスに接続するときに使用されます。

デフォルトの接続プロパティは、メニュー項目 [LANとすべての接続] で [接続プロパティ] ボタンを押して定義します。電話帳ホストのエントリなど、個別のプロパティが定義されていない限り、デフォルトが使用されます。

接続プロパティは7つのタブで編成されており、各タブについては以下で説明します。

2.6.1 「ログオン」タブ

接続プロパティ

デスクトップ最適化 入力 暗号化

ログオン リモートデスクトップウィンドウ アクション ディスプレイ

ホストログオン資格情報

ユーザー名:
|

パスワード:

ドメイン:

☒ 現在のログオン資格情報を使用する。

すべてのフィールドはオプションですが、ログオンプロセスの自動化に役立ちます。

OK キャンセル

ホストがゲストを認証するために使用する資格情報を事前に定義します。ユーザー名、パスワード、ドメインまたはワークグループなどの資格情報は、ホストによって定義された認証方法に応じて、ホストによって使用されます。資格情報が間違っているか欠落している場合、ゲストはホストへの接続時に欠落している資格情報を要求するプロンプトを表示します。ホストが2要素認証で保護されている場合は、確認コードの入力を求められます。

ホストコンピューターで選択された認証方法が Windows セキュリティで、[現在のログオン資格情報を使用する。] を選択した場合、Windows PC にサインインしたときに使用した資格情報が最初に試行されるため、これらの資格情報が、事前に定義された資格情報よりも優先されます。

2.6.2 リモートデスクトップウィンドウタブ



リモートデスクトップウィンドウの設定により、接続時にリモートデスクトップ画面を含むゲストウィンドウがどのように表示されるかが決まります。

ウィンドウ表示

リモートデスクトップ画面を表示するウィンドウ。

全画面表示

リモート画面を表示する、ウィンドウフレームのない全画面ウィンドウ。

最大化

リモート画面を表示する最大化されたウィンドウ。

最小化

リモート画面を保持した最小化されたウィンドウ。

[リモートデスクトップウィンドウの起動位置] を使用すると、ウィンドウのサイズと位置を事前に定義できます。

[スキン] 設定は、デバイスに接続するときにスキンがどのように適用されるかを制御します。

自動

プログラムは、デバイスに一致するスキンを選択します (WiseMo データベースからダウンロードします)。一致するものがない場合、またはダウンロードできない場合は、WiseMo が設計したデフォルトのスキンが使用されます。

スキンを使用しない

リモートデスクトップはウィンドウに表示され、スキンは使用されません。

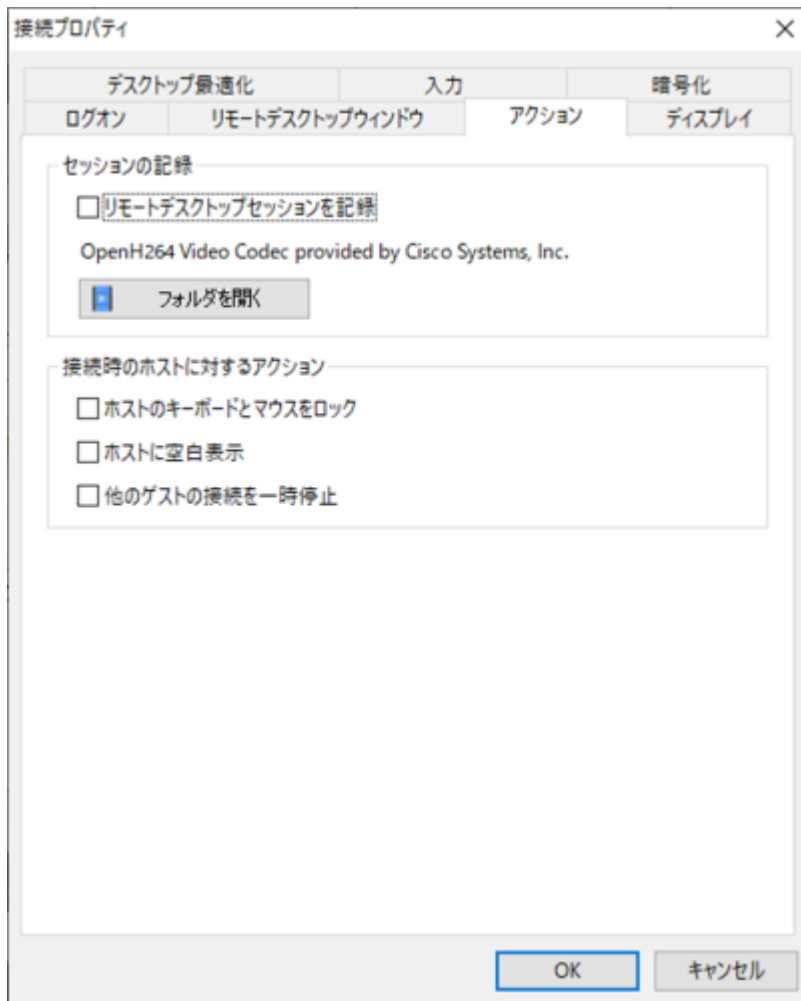
特定のものを使用

このオプションは、特定のデバイスにスキンが存在しない場合に便利です。使用する特定のスキンの名前を入力します。ゲスト PC のローカルに保存されているスキンの名前を入力します。

透明なウィンドウとして表示

スキンは周囲のウィンドウフレームなしで表示されます (スキンはデスクトップ上に自由にフローティングしています)。

2.6.3 アクションタブ



[接続時のホストに対するアクション] は、ホストとの接続時のアクションを自動化する設定であり、そのようなアクションを許可するホストのセキュリティ設定に従います。

ホストのキーボードとマウスをロック

ゲストが接続されている間、ホスト PC 上のユーザーはキーボードとマウスを使用できません。

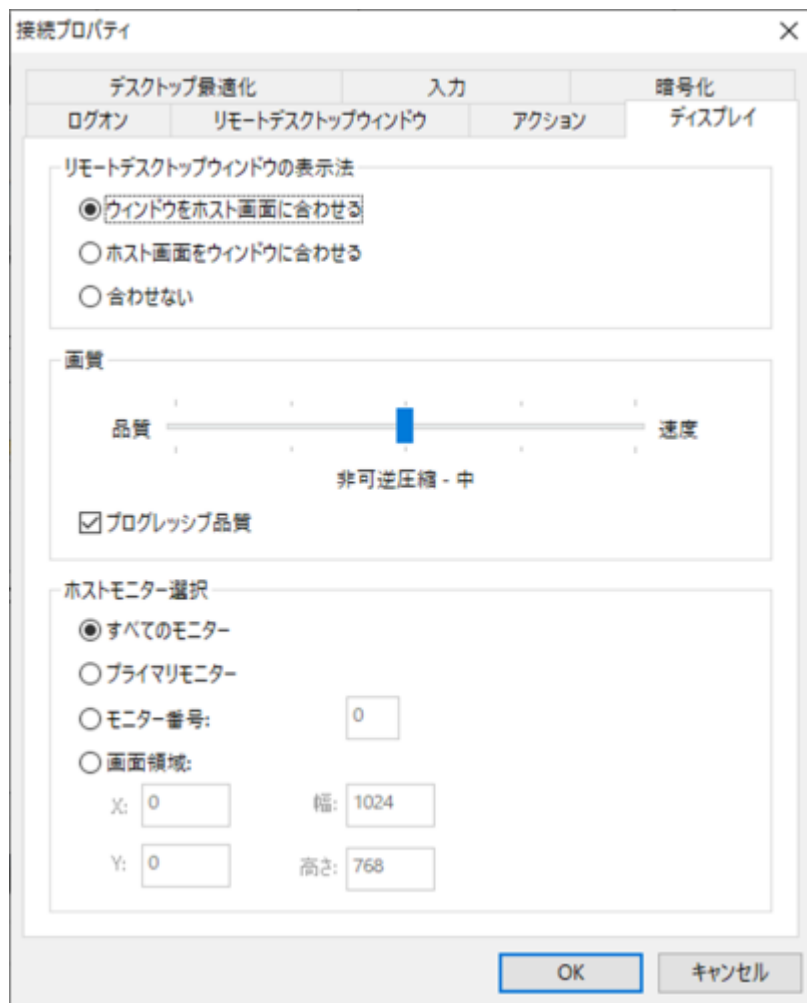
ホストに空白表示

ホスト PC の画面が真っ白になるため、ホスト上で何を行っているかを見ることができません。

他のゲストの接続を一時停止

WiseMo 製品では、許可されていれば、複数のゲストを同じホストに接続できます。この設定により、接続後は他のゲストが接続できないようになります。

2.6.4 ディスプレイタブ



[リモートデスクトップウィンドウの表示法] 設定により、ゲスト上のウィンドウにリモートデスクトップがどのように表示されるかが決まります。

ウィンドウをホスト画面に合わせる

ウィンドウのサイズは、可能であればホスト画面に合わせて調整されます。ホスト画面がゲスト画面より大きい場合、スクロールバーが適用されます。

ホスト画面をウィンドウに合わせる

ホスト画面は、ゲスト PC のウィンドウに合わせて拡大または縮小されます。つまり、完全なホストデスクトップが表示されます。

合わせない

ホストデスクトップにもゲストウィンドウにも合わせません。

[画質] 設定はパフォーマンスを最適化します。

スライダー

画面イメージの品質と画面転送速度間で優先付けします。スライダーは圧縮のタイプとレベルを制御します。中央の位置がデフォルトであり、[プログレッシブ品質]と組み合わせると優れています。

[プログレッシブ品質] スイッチ

3つの非可逆圧縮タイプのいずれかが選択されている場合は、アイドル時間を使用して画像の鮮明さを最大の品質に近づけます。

[ホストモニターの選択] 設定を使用すると、ホストコンピューターに複数のモニターがある場合に、どのモニターをリモート制御するかを事前に定義できます。

すべてのモニター

リモートデスクトップウィンドウにすべてのモニターの内容を表示します。

プライマリモニター

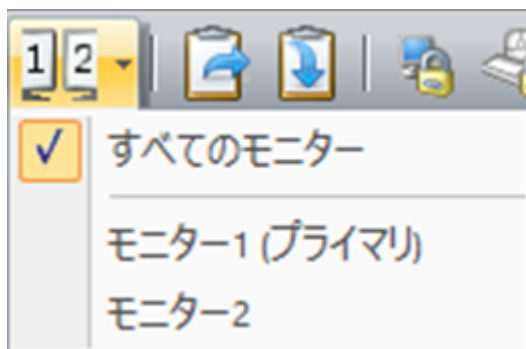
リモートデスクトップウィンドウにプライマリモニターのコンテンツを表示します。

モニター番号

リモートデスクトップウィンドウに表示する特定のモニターを指定します。

画面領域

リモートデスクトップウィンドウに表示するリモートデスクトップの領域を指定します。



ホストモジュールでサポートされている場合は、リモートデスクトップ中にゲストモジュールのモニターボタンを使用できます。リモートデスクトップセッションの間、使用可能なモニター間をオンラインで切り替えます。

2.6.5 デスクトップ最適化タブ



これらの設定は、最高のパフォーマンスを実現するために、接続中にホストコンピューターの画面がどのように変更されるかを決定します。

最適化

最適化を試行するかどうかを定義します。

完全最適化

可能なすべての最適化機能を使用するにはチェックを入れます。

使用したくない特定の最適化機能を無効にすることができます。その機能は次のとおりです。

壁紙

リモート画面の壁紙を削除します。

スクリーンセーバー

スクリーンセーバーを無効にします。

アニメーションの仕掛け

リモートデスクトップが使用する可能性のあるさまざまなアニメーションギミックを無効にします。

全画面ドラッグ

ウィンドウをドラッグする時、フレームのみが表示され、ウィンドウの内容は表示されません。

アクティブデスクトップ

古い Windows PC にあるアクティブデスクトップの使用を無効にします。

Aero

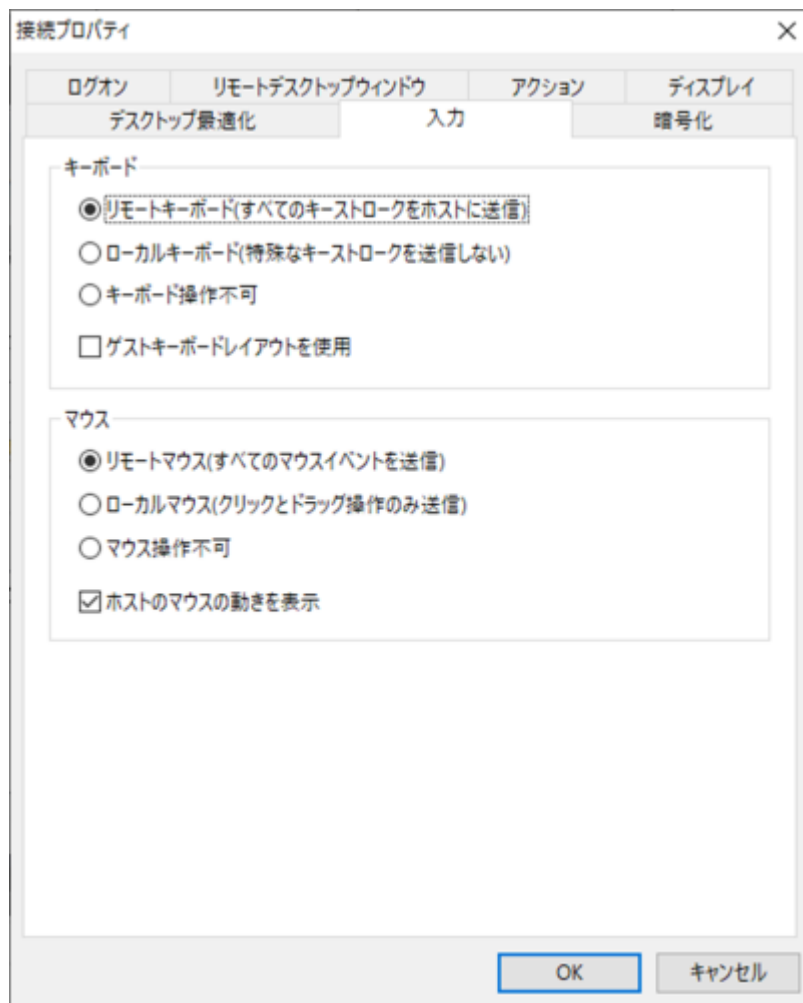
Aero (例: シースルーウィンドウフレーム) の使用を無効にします。

最適化が実際に使用されるかどうかは、ホストオペレーティングシステムとオペレーティングシステムのバージョンによって異なります。



「完全最適化」が事前に定義されていない場合、リモートデスクトップセッション中、「すべての画面転送最適化」はオンラインで簡単にオン/オフを切り替えることができます。

2.6.6 入力タブ



[キーボード] 設定は、ゲストキーボードで行われたキーストロークの処理を制御します。

デフォルトでは、キーストロークをホストコンピューターに渡すために「ホストキーボードレイアウト」方式が使用されます。これは、ゲストキーボードとホストキーボードが同じタイプの場合に有益です。

「ゲストキーボードレイアウトを使用」オプションをオンにして、代わりにデフォルトとして「ゲストキーボードレイアウト」方法を使用します。「ゲストキーボードレイアウト」は、ゲストキーの文字をホストに送信します。ゲストとホストコンピューターでキーボードレイアウトが異なる場合に便利です。ホストに接続すると、ゲストユーザーインターフェイスから2つのモードを簡単に切り替えることができます。



[マウス] 設定は、マウスイベントの外観と処理を制御します。

[リモートマウス] オプションは、すべてのマウスの動きをホストに送信し、ゲストコンピューター上に離れたマウスカーソルの実際の形状を表示しようとします。離れたホストにマウス

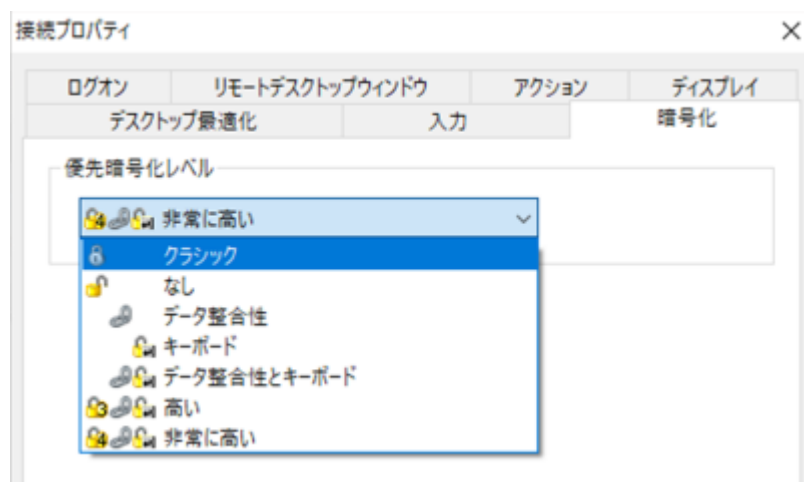
ポインタが表示されない場合は、ゲストコンピューターにもマウスポインタが表示されない可能性があります。

[ローカルマウス] オプションでは、ホスト上の状況に関係なく、ゲスト上に常にマウスポインタ (矢印) が表示されます。クリックとドラッグの動きのマウス位置のみを送信します。

「ホストのマウスの動きを表示」は、ゲストのマウスポインタがホストの動きに追従します。ホストユーザーがマウスをどのように扱うか、または何かをデモンストレーションしているかを観察する場合、これは興味深いかもしれません。ホストマウスを追跡するには、ゲストマウスをリモートデスクトップウィンドウ上に配置する必要があることに注意してください。この設定は、ホストに接続しているときに切り替えることができます。



2.6.7 暗号化タブ



ホスト上の定義によって、最終的にどの暗号化設定を使用できるかが決まります。ただし、ゲストユーザーは自分の設定を指定することができ、ホストが許可した場合はその設定が使用されます。

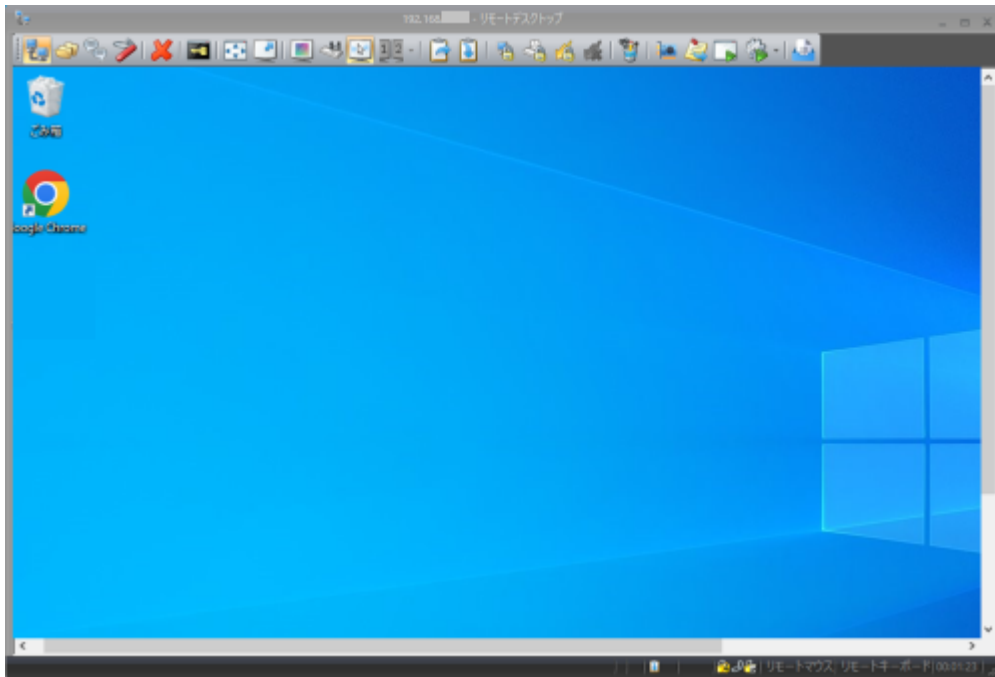
あなたの設定がホストによって許可されていない場合、ホストがより強力なレベルを許可していれば、より強力な暗号化レベルが使用されます。それ以外の場合は、ホストによって許可されている場合には、より弱いレベルが使用されます。

3 ホストコンピューターまたはデバイスのリモートコントロール

リモートデスクトップセッションを介してホストコンピューターまたはホストデバイスに接続すると、ゲスト PC の画面にリモートデスクトップまたはその一部が表示されます。

リモートデスクトップの表示部分は、ウィンドウモードの場合はウィンドウのサイズを変更したり、全画面モードに切り替えたりするなど、さまざまな方法で調整できます。

ウィンドウモード

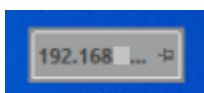


リモートデスクトップセッション中は、ホストと他のセッションを開始したり、特定のコマンドを実行したりするなど、さまざまなタスクを実行できます (詳細については、[セクション 3.1](#) を参照)。

ウィンドウモードでは、タスクボタンのトップメニューが表示されます。このメニューは切り離せることに注意してください。これは、たとえばウィンドウが小さすぎてすべてのボタンを表示できない場合に便利です。各タスクにはツールチップが用意されており、該当のボタンにカーソルを置くだけです。

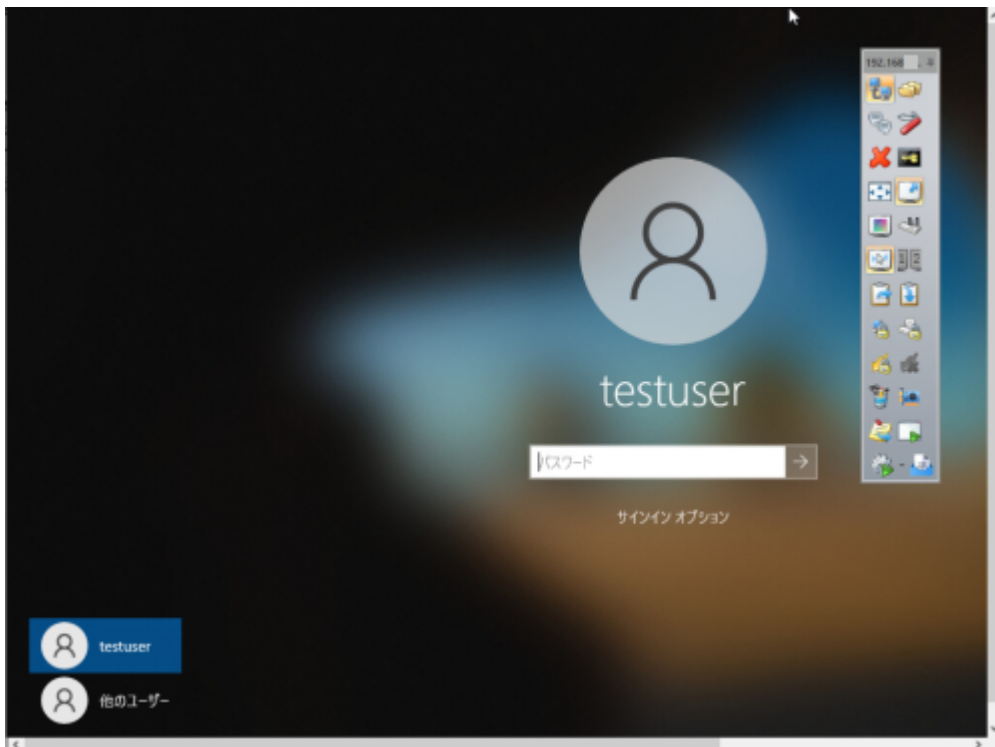
全画面モード

「フルスクリーン」モードで実行した場合、各ホストのメニューは折りたたまれたフローティングメニューになります。メニュー項目を表示したまま「ピン留め」することができ、項目を表示したままにしておくことができます。ツールチップを読むには、タスク項目にカーソルを置いてください。





ウィンドウモードとフルスクリーンモードを簡単に切り替えることができます。[全画面表示] ボタンを使用します。



リモート Windows PC のフルスクリーンビュー

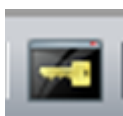
3.1 リモートデスクトップのタスク



リモートデスクトップセッションを通じてホストに接続すると、このリモートデスクトップセッションのタスクボタンのメニューが表示されます。タスクボタンは、ホストのタイプとそのセキュリティ設定に応じて有効または無効になります。ボタンの上にマウスカーソルを置くと、タスクの目的を説明するツールチップが表示されます。



このホストで他のセッションタスクを開始します（ファイル転送、チャット、またはリモート管理）。ボタンを非アクティブにしてセッションタスクを閉じるか、すべてのセッションを含む接続を完全に閉じます。



Ctrl-Alt-Del キーの組み合わせをホストに転送します。通常は、リモート Windows PC へのログイン時に使用されます。



ホスト画面をウィンドウに合わせて拡大縮小します。これを使用すると、ウィンドウ内に完全なリモートデスクトップが表示されます。それ以外の場合、リモートデスクトップはウィンドウ内に実際のサイズで表示されます (一部のみが表示されている場合はスクロールバー付き)。



フルスクリーンモードとウィンドウモードを切り替えます。



すべてのデスクトップの最適化と、接続プロパティで定義された最適化設定を切り替えます。



ゲストキーボードレイアウトを使用するにはアクティブ化します。アクティブ化しない場合は、ホストキーボードレイアウトが使用されます。ゲストコンピューターとホストコンピューターに同じタイプのキーボードがある場合は、ホストキーボードレイアウトを使用します。離れた場所にある Windows PC でキーを押しても期待どおりの結果が得られない場合は、切り替えを試してください。



ホストのマウスの動きを表示するかどうかを切り替えます。ホストコンピューター上のユーザーがマウスをどのように動かすかを追跡したい場合に便利です。



ホストに複数のモニターがある場合、複数のモニターを切り替えます。リモートコントロールウィンドウ内に表示されるすべてのモニターを確認することもできます。



ゲストのクリップボードをホストに転送 (自動転送を使用しない場合)

ホストのクリップボードをゲストに転送 (自動転送を使用しない場合)



ホストのタイプとそのセキュリティ設定に応じて、ゲストは次の操作を行うことができます:
ホストの画面を空白にする、ホストのキーボードとマウスをロックする、ホストへのさらなる
ゲストの接続を一時停止する、このホストから他のすべてのゲストを切断する。

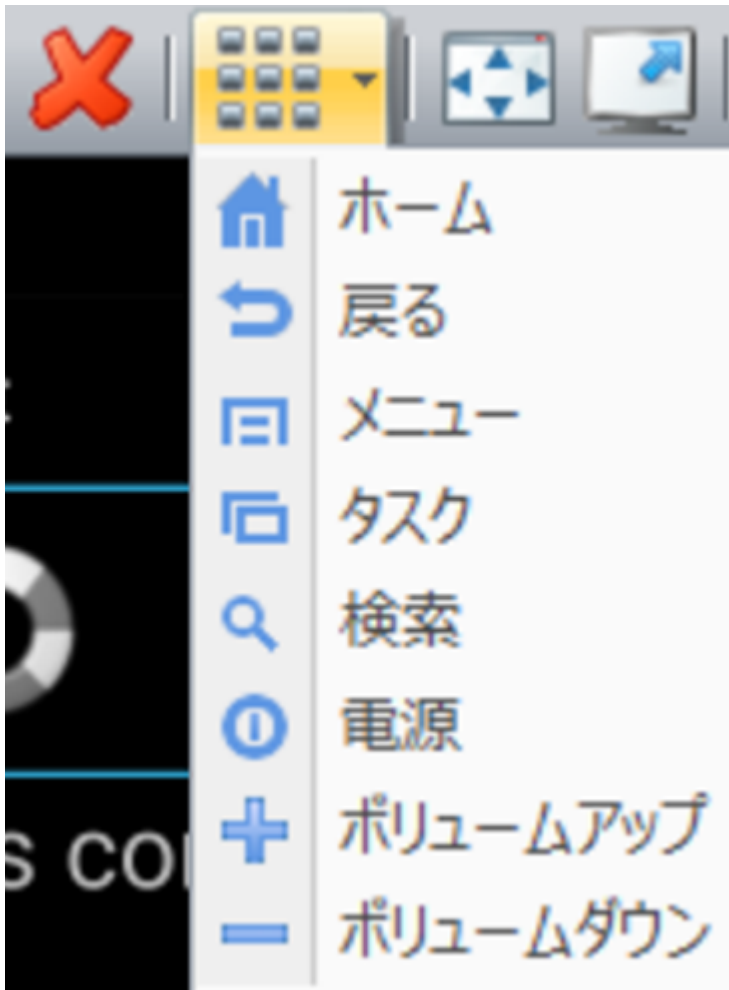


ホスト PC で WiseMo マーカーユーティリティを開いたり閉じます。ホスト画面上でマーク、
書き込み、ハイライトしたり、黄色の付箋メッセージを残すための優れた機能セットです。



ホスト上で、インベントリの収集、メッセージの送信、プログラムの実行、ロックやログオフ
などのコマンドの実行を行うタスクボタンです。

スキンなしでのデバイスへの接続

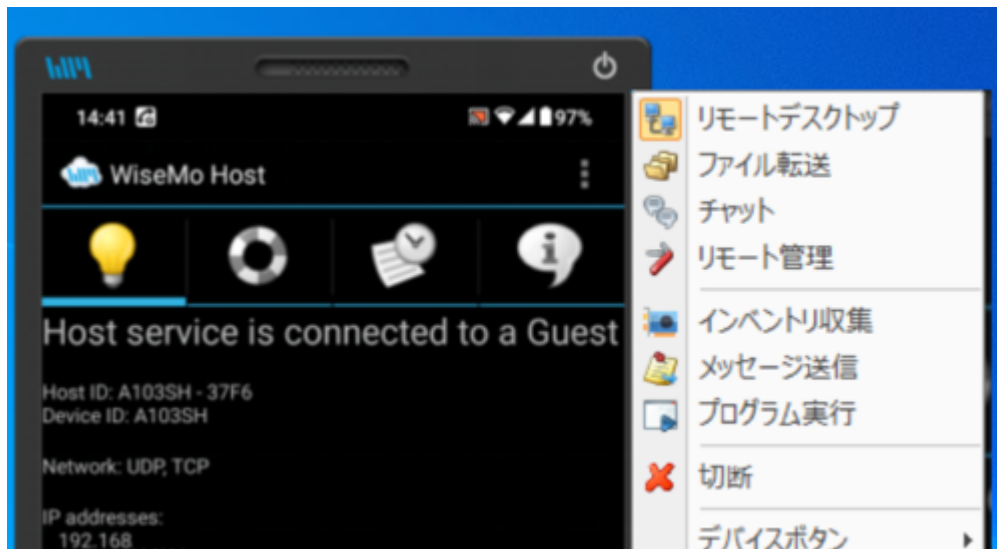


通常、デバイスをリモート制御しているときは、デバイスのスキン (画像) が表示されます。これにより、音量ボタン、ホームボタン、戻るボタンなど、デバイス上のボタンを押すことができます。

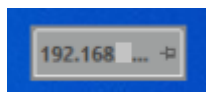
スキンが表示されない場合は、代わりにデバイスボタンのドロップダウンメニューを使用できます。

透明スキンを使用してホストデバイスに接続

接続プロパティで透明スキンを使用するオプションが選択されている場合、表示されるスキン (デバイスの写真) はウィンドウフレームで囲まれていません。スキンを移動させることができます。



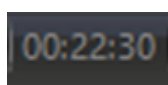
リモートデスクトップツールバーにアクセスするには、スキン上で右クリックしてメニューを表示します。



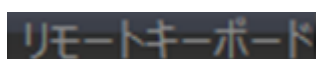
フローティングドロップダウンツールバーをクリックすることもできます。ピンをクリックすると、フローティングツールバーが展開されたままになります。

3.2 リモートデスクトップステータスバー

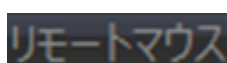
ウィンドウモードでは、ウィンドウの下フレームにセッションのステータス情報が表示されます。



このホストに接続していた時間を示します。



リモートキーボードコントロールがあるかどうかを示します。



リモートマウスコントロールがあるかどうかを示します。



アイコンは使用中の暗号化レベルを示します。利用可能なレベルについては、[接続プロパティ] の [暗号化] タブを参照してください。



自動クリップボード転送を通知するために一時的に表示されるアイコン。自動クリップボード転送が有効になっているが、クリップボードのサイズが許可を超えている場合は、新しいクリップボードが転送可能であることを知らせるアイコンが表示されます。自動クリップボード転送が有効になっていない場合は、クリップボードが転送に使用できることを示すアイコンが表示されます。クリップボードを転送したい場合は、ツールバーからクリップボード転送タスクを手動で実行できます。

3.3 マウスポインタ

リモートデスクトップ制御中に、「リモートマウス」オプションを使用すると、ゲストのマウスポインタがリモートホストコンピューターの状況を反映して動的に変化するため、その場にいるような気分になります。

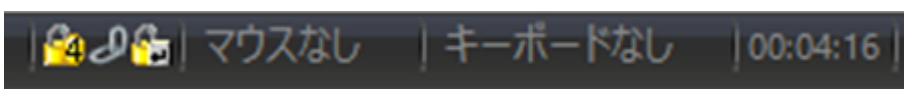
一部のアプリケーションでは非表示のマウスが表示されることに注意してください。これにより、ゲスト側にも非表示のマウスが表示されます。常に「固定」マウスポインターを表示するには、[接続プロパティ] の [入力] タブで [ローカルマウス] オプションを選択します。

3.4 同じホストに接続された複数のゲスト

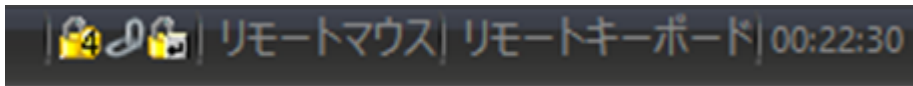
許可されている場合、複数のゲストが同じホストに同時に接続できます。これにより、複数のゲストユーザーが単一のリモートデスクトップで何が起こっているかを追跡できるようになります。

すべてのゲストユーザーが画面を表示できますが、ホストのキーボード/マウス/入力コントロールを制御できるのは一度に 1 人のゲストだけです。最初に接続したゲストが最初は入力コントロールを持ちます。

別のゲストユーザーは、マウスクリックなどの入力アクションをホストに渡すことで入力コントロールを取得できます。これはサウンドによって通知され、ウィンドウモードではマウスとキーボードのステータスが下部のステータスラインに表示されます。

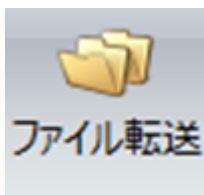


マウスクリックなどの入力アクションをホストに渡すことで、キーボードとマウスのコントロールを取り戻すことができます。



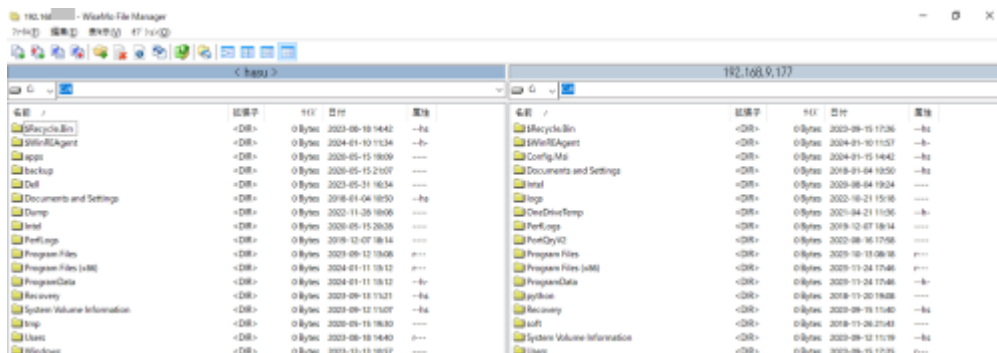
4 ファイル転送

ゲストプログラムには、ホストがコンピューターであるかデバイス (Win Mobile および CE デバイスを含めた、スマートフォン、タブレット、その他の小型端末または無人デバイス) であるかに関係なく、ゲストモジュールとホストモジュール間のファイル転送に使用される強力で非常に高速なストリーミングファイルマネージャーが付属しています。



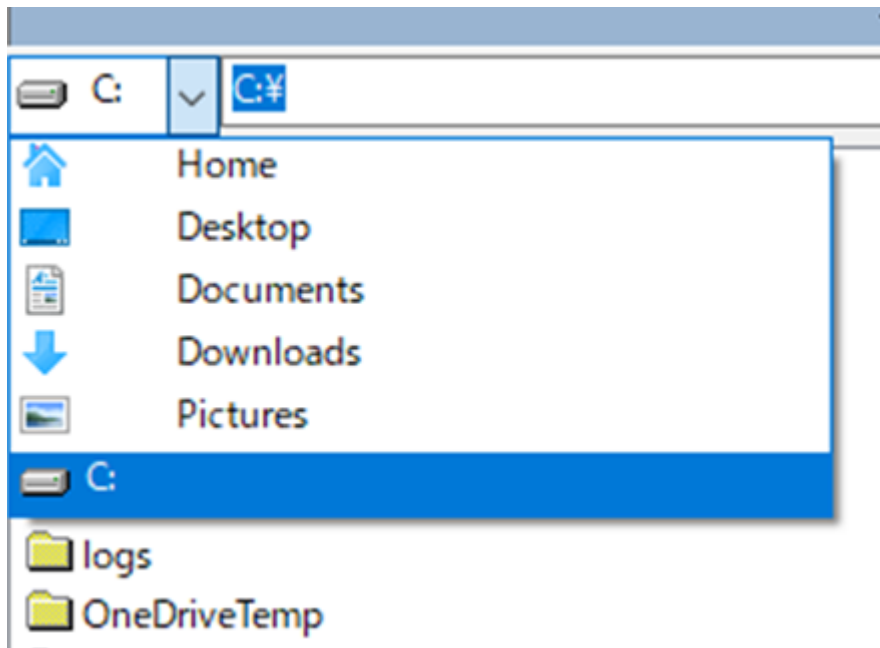
ホストを選択し、ファイル転送セッションを開始します。

別の分割画面ファイル転送ウィンドウが開き、そこからゲスト PC とホストの間でファイルまたはディレクトリ全体を簡単にドラッグアンドドロップできます。



WiseMo ファイルマネージャーを使用すると、ゲストとホストの間でファイルとフォルダーをコピー、移動、同期、クローンできます。ほとんどのコマンドでは、個々のファイル、フォルダー、またはフォルダー階層全体を操作できます。

よく使用するフォルダーにショートカットでアクセスでき、フォルダー階層内を上下に移動できます。

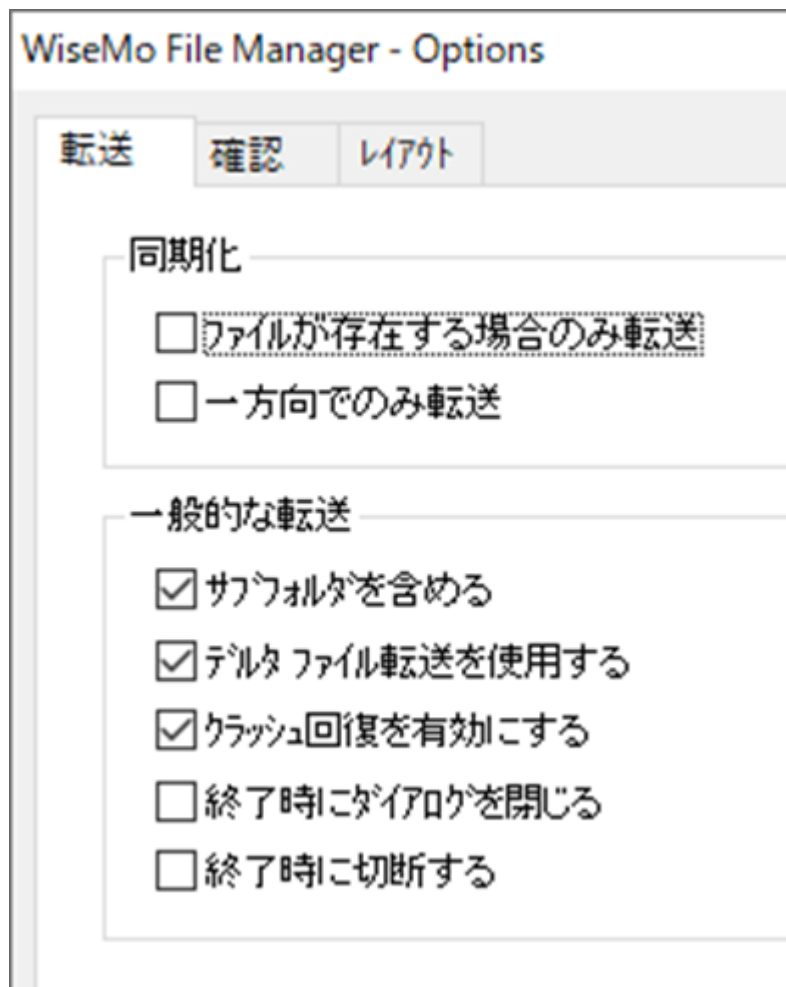


デフォルトでは、ファイル転送はデルタファイル転送を使用して、ファイルのコピーにかかる時間を最適化します。デルタファイル転送では、ファイルが両側にすでに存在する場合、変更のみが転送されます。

ファイルマネージャーでは、進行状況の情報と履歴も提供されます。



ファイルマネージャーには多くのオプションが含まれているため、動作を調整して使用を最適化できます。



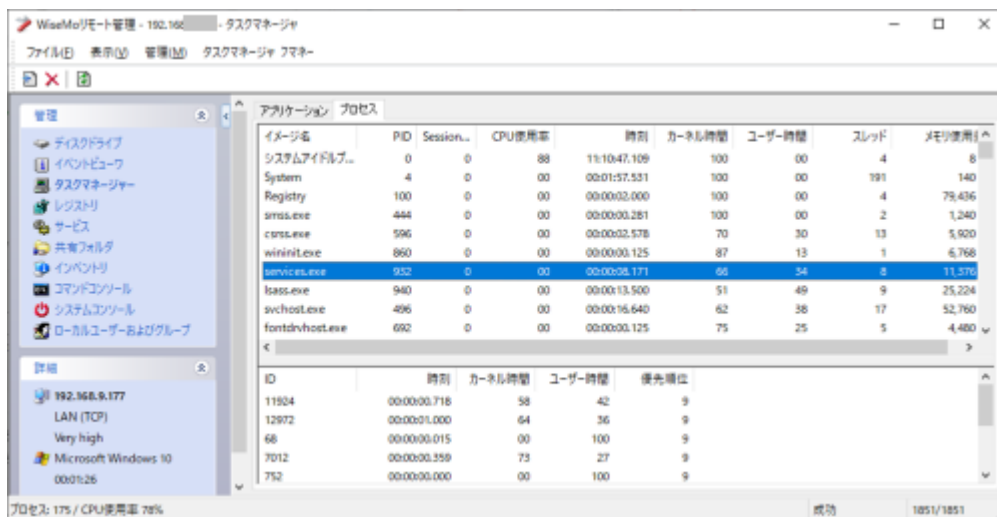
5 リモート管理コンソール

ゲストプログラムには、リモートデスクトップを妨げることなく、ホストコンピューターまたはデバイス上で情報を収集し、コマンドを実行するために使用される強力なリモート管理コンソールが付属しています。これにより、たとえば、リモートホストで作業しているユーザーを中断することなく、管理タスクを実行できます。



ホストを選択し、リモート管理セッションを開始します。

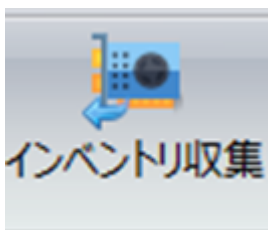
リモート管理コンソールを含む別のウィンドウが開きます。



コンソールからは、接続しているホストのタイプに応じて異なる多くのシステム管理機能にアクセスできます。

6 インベントリ

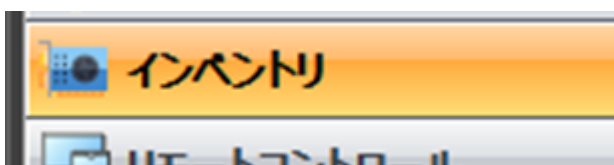
ゲストプログラムは、ホストから情報を収集するための強力なツールを提供します。このプログラムは、ハードウェアとソフトウェアの両方に関する情報を収集します。



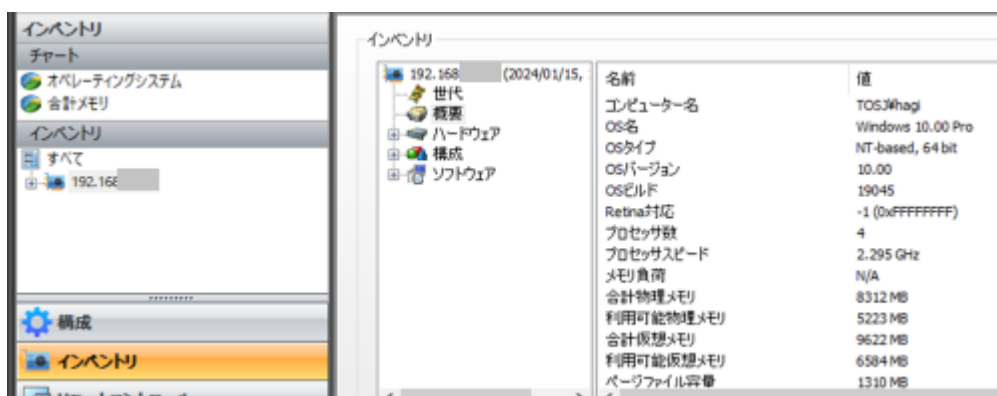
1 つ以上のホストを選択し、インベントリの収集タスクを使用してホストに接続し、ハードウェアとソフトウェアの「インベントリ」情報を収集します。

収集されたインベントリの結果は、ホスト ID ごとに XML ファイルとしてツリー構造で保存され、後で分析/レポートを生成できるように、サードパーティのアプリケーションからも簡単にアクセスできます。インベントリ ルートフォルダーの場所は、構成セクション (全般 > フォルダ) で定義できます。これは、たとえば、複数のゲストユーザー間で共有できるサーバーにインベントリを保存するために使用できます。

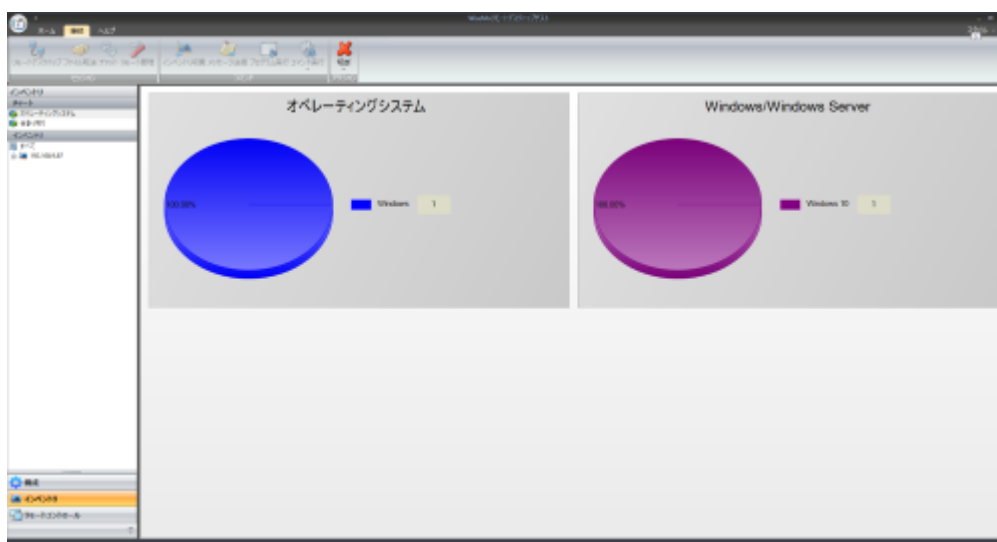
下部の左側ペインのゲストプログラムにあるメインカテゴリメニュー項目を介して、ゲストインターフェイスから XML インベントリにアクセスできます。



選択すると、インベントリストレージが表示されます。



コンピューター/デバイスごとの最新のインベントリに基づいた概要を提供するリストビュー。階層的なインベントリ構造を通じて、コンピューター/デバイスごとの詳細ビューに簡単にアクセスできます。OS の数と種類ごとの OS バージョンの概要を簡単にまとめたグラフ。また、コンピューター/デバイスの総メモリを簡単に表示するグラフも、OS の種類とバージョンごとに表示されます。

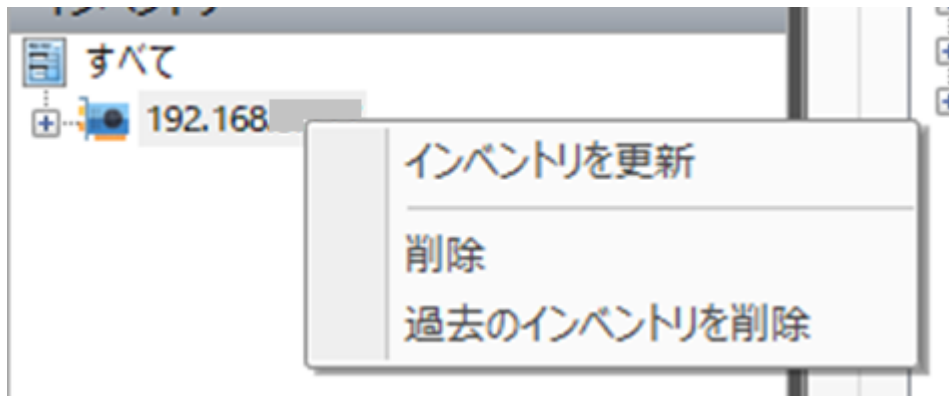


インベントリの更新

単一のインベントリを更新するのは簡単です。インベントリリストでホストを選択し、右クリックして[インベントリを更新]を選択するだけです。

インベントリの削除

インベントリを個別に削除することも、単一のコマンドで特定のホストのすべての履歴インベントリ、またはすべてのホストのすべての履歴インベントリを削除することもできます。



7 ヘルプタブ

[ヘルプ] タブには、オンラインのサポートやその他のリソースにアクセスするためのボタンがあります。ゲストプログラム自体で動作するボタンもあります。



サポート

このボタンは WiseMo サポート ページにアクセスし、そこから観察を記録したりバグを報告したりできます。

ナレッジベース

製品モジュールの使用法に関するよくある質問をまとめた WiseMo のコレクションにアクセスします。

登録

WiseMo のシステムに接続して、当社製品のユーザーであることをオンラインで登録します。

ライセンスを適用

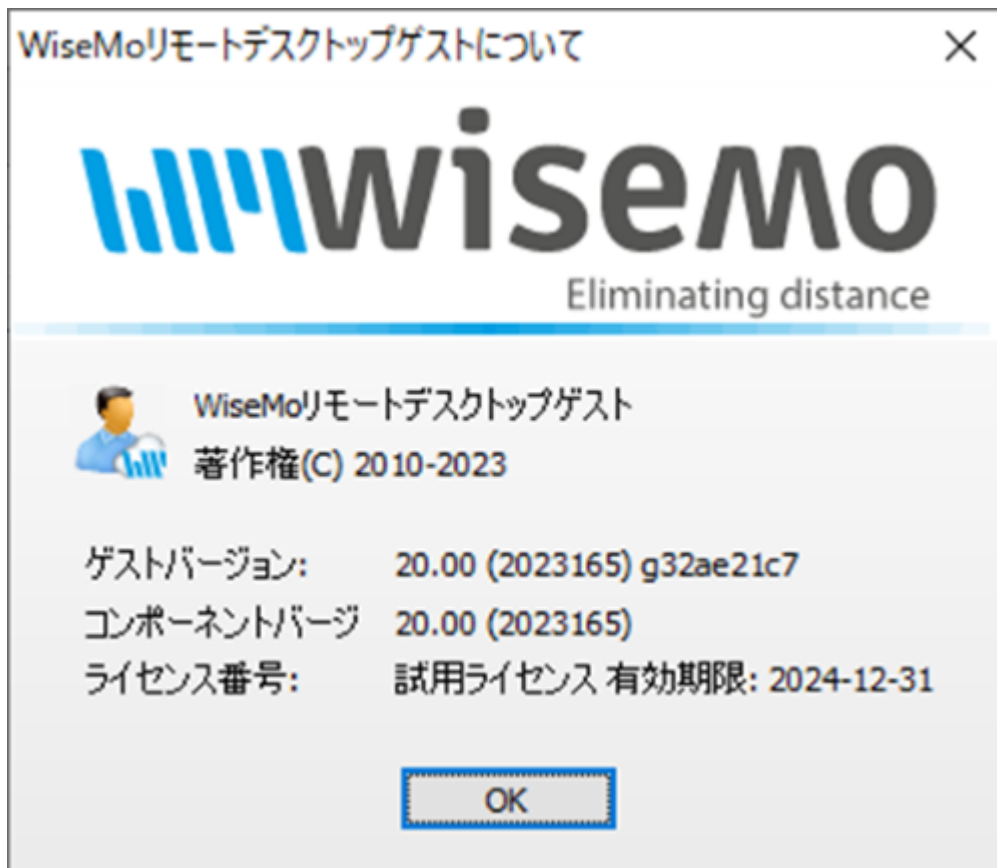
WiseMo ライセンス キーを入力できます。たとえば、試用版キーを永久キーに切り替えることができます。また、Program Data の Guest フォルダにある Guest.lic ファイルを削除してからウィザードを実行して、新しいタイプのライセンスを定義することもできます。

サポートログ

ゲストとホスト間の下位レベルの通信を記録した WsmGuestWin.log ファイルを保存します。トラブルシューティングの目的で使用されます。問題を報告する必要がある場合、WiseMo のサポートはこのサポートログを作成して当社に送信するよう要求する場合があります。

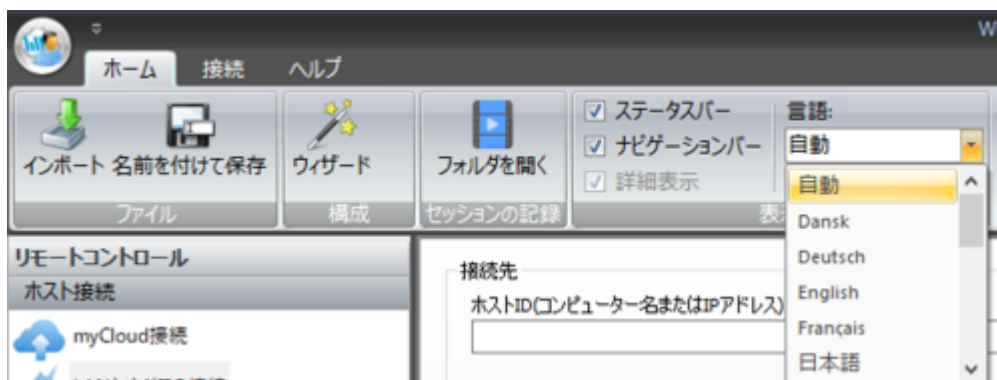
バージョン情報

[バージョン情報] 画面には、バージョン、ライセンス、著作権表示など、プログラムに関する情報が表示されます。



8 ホームタブ

[ホーム] タブには、プログラム全体の構成オプションがいくつかあります。



インポートと名前を付けて保存

構成は XML ファイルに保存され、インポートしたり、好みの場所に保存したりできます。

ウィザード

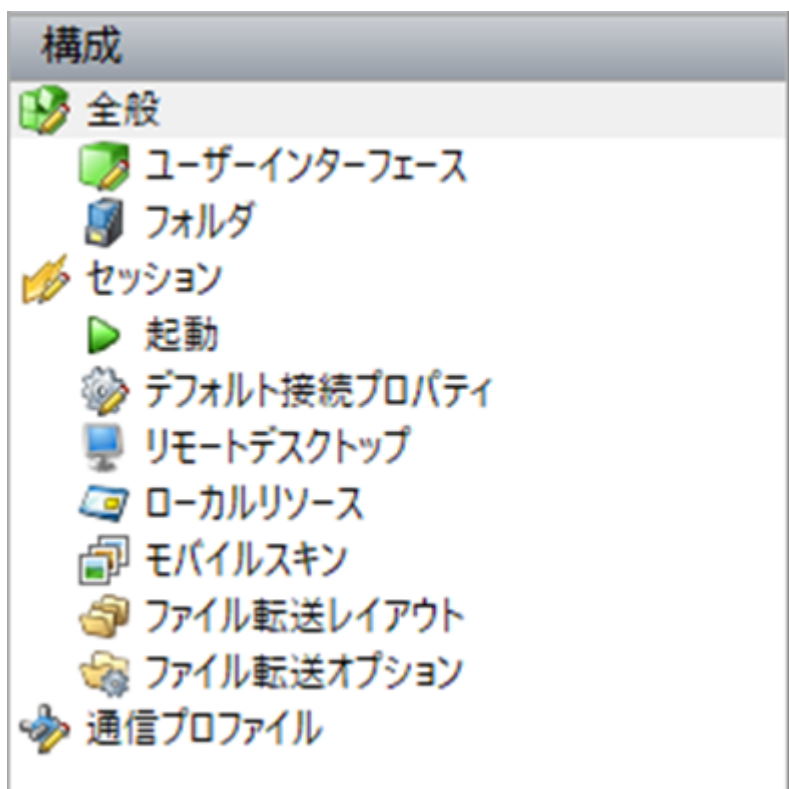
このボタンを押すと、主にライセンス方式の選択に使用されるセットアップウィザードが実行されます。

言語

利用可能な言語の中から選択します。利用可能な場合、プログラムに PC の言語定義を使用させるには、自動を使用します。

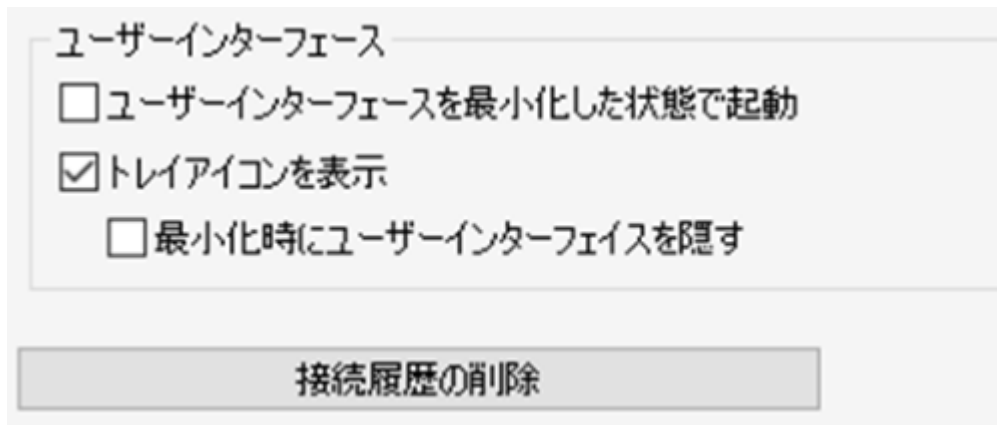
9 構成メニュー

[構成] メニューは、メインカテゴリの [リモートコントロール] が左側のペインで選択されている場合に使用できます。多数の構成オプションが提供されます。



ユーザーインターフェース

ゲストコンソールの動作を制御します。ここから、「LANとすべての接続」メニュー項目にある接続履歴を削除することもできます。



ユーザーインターフェース

☐ ユーザーインターフェースを最小化した状態で起動

☒ トレイアイコンを表示

☐ 最小化時にユーザーインターフェイスを隠す

接続履歴の削除

フォルダ

デフォルト以外の別の場所を指定したい場合は、電話帳ファイルとインベントリファイルを配置する場所を定義します。たとえば、複数のサポート担当者が共通に使用できるようにファイルサーバー上に電話帳を定義したい場合です。「開く」を押すと、現在どこに保存されているかを確認できます。デフォルトに戻すには、フォルダーフィールドを空のままにして、「適用」を押します。



電話帳

ファイル名: デフォルト

選択...

開く...

インベントリ

ファイル名: デフォルト

選択...

開く...

起動

ここで、どのセッションタスクをデフォルトにするかを決定します。工場出荷時の設定はリモートデスクトップです。

リモートデスクトップ

これらの設定は、リモートデスクトップセッションに関連する外観と動作を制御します。

コントロールバー

☒ ツールバー

☒ ステータスバー

リモートデスクトップウィンドウ

☒ 自動スクロール

☒ 自動的に入力制御を取得

☒ 最前面のウィンドウとして全画面表示

☐ すべてのモニターで全画面表示

ホットキーの割り当て

全画面:

Ctrl + F11

Ctrl-Alt-Delをホストに送信:

Ctrl + Alt + D

Ctrl-Escをホストに送信:

Ctrl + Alt + E

Alt-Tabをホストに送信:

Ctrl + Alt + T

コントロールバー

リモートデスクトップウィンドウにツールバーとステータスバーを表示します。

リモート デスクトップ ウィンドウ

「自動スクロール」は、マウスポインタがウィンドウ枠に近づくと、ウィンドウに表示されているリモートデスクトップをスクロールします。

「自動的に入力制御を取得」では、複数のゲストが同じホストを制御している場合に、接続時に入力制御が提供されます。

「最前面のウィンドウとして全画面表示」により、全画面モードのビューが他の画面の上に表示されます。

「すべてのモニターで全画面表示」は、PC に複数のモニターがある場合に関係します。

ホットキーの割り当て

特定のタスクのホットキーを定義できます。全画面表示では、全画面モードとウィンドウモードが切り替わります。特定のキーの組み合わせはゲスト PC 上の Windows OS によって実行されます。代替ホットキーを定義すると、それらをホスト側に渡すことができます。

ローカルリソース



The image shows a Windows settings window titled "ローカルリソース" (Local Resources). It has two sections: "スマートカード" (Smart Cards) and "クリップボード転送" (Clipboard Transfer). In the "スマートカード" section, there is a checkbox "スマートカードリーダーをリダイレクト" (Redirect smart card reader) which is unchecked. Below it is a label "リダイレクトするスマートカードリーダー:" (Redirect smart card reader:) followed by a dropdown menu currently set to "自動" (Automatic). In the "クリップボード転送" section, there is a checkbox "クリップボードを自動転送:" (Automatically transfer clipboard) which is checked. To its right is a text box containing "100" and the label "KB".

スマートカード

Windows PC に接続すると、スマート カードリーダーをゲストコンピューターにリダイレクトできます。これにより、ホストコンピューター上のアプリケーションでスマート カードが必要な場合に、ゲストコンピューターにスマートカードを挿入できるようになります。

クリップボード転送

ゲストとホストの間でクリップボードの自動転送を許可するかどうかを制御します。ゲストコンピューターとホストコンピューター間で、効率的な Ctrl+c、Ctrl+v 操作が可能です。

注

ホストコンピューターまたはゲストコンピューターのクリップボードに何かを置いた場合、自動機能はコンピューター間でクリップボードを転送するつもりかどうかを認識しません。もし、機密データを扱う場合、他のコンピューターのクリップボードに保存したくない場合は、この自動機能をオフにする必要があります。

たとえば、パフォーマンスが低下する可能性がある大きなアイテムの自動転送を避けるために、自動的に転送するクリップボードの最大サイズを定義できます。

モバイルスキン

The image shows a settings window with two main sections: 'スキンリポジトリ' (Skin Repository) and 'プロキシ' (Proxy). In the 'スキンリポジトリ' section, the 'オンラインスキン(デフォルト)' (Online Skin (Default)) option is selected with a radio button. Below it, the 'URL:' field contains 'skins.wisemo.com' and the 'ポート:' (Port) field contains '80'. There are three other unselected radio button options: 'フォルダ内のスキンのみ使用' (Use only skins in folder), 'すでにキャッシュされているスキンのみ使用' (Use only skins already in cache), and 'スキンを使用しない' (Do not use skins). The 'フォルダ:' (Folder) field is empty. In the 'プロキシ' section, the 'プロキシを使用' (Use proxy) checkbox is unchecked. Below it, the 'アドレス:' (Address) field is empty. The '現在のWindows認証情報を使用' (Use current Windows authentication information) radio button is selected. There are also unselected radio buttons for '使用:' (Use) with 'ユーザー名:' (Username) and 'パスワード:' (Password) fields below them.

スキンリポジトリ

☒ オンラインスキン(デフォルト)

URL: skins.wisemo.com

ポート: 80

☐ フォルダ内のスキンのみ使用

フォルダ:

☐ すでにキャッシュされているスキンのみ使用

☐ スキンを使用しない

プロキシ

☐ プロキシを使用

アドレス:

☒ 現在のWindows認証情報を使用

☐ 使用:

ユーザー名:

パスワード:

スキンは、アクティブなボタンを持つデバイスの画像です。最初の接続時に、ゲストはデフォルトで WiseMo のスキンサーバーへの接続を試み、デバイスで利用可能な最新のスキンをダウンロードし、PC のキャッシュに保存します。

特定のデバイスで利用できるスキンがない場合、ゲストはデフォルトのスキンを使用します。デフォルトのスキンに満足できない場合は、WiseMo に連絡して特定のデバイスのスキンをリクエストしてください。

インターネット接続がない場合は、スキンをローカルに保存するためにさまざまなオプションを利用できます。

ファイル転送レイアウト

WiseMo ファイルマネージャーのレイアウトに関するさまざまな設定を制御します。オプションは、アクティブなセッションのファイルマネージャーユーザーインターフェイス内からも使用できます。

ファイル転送オプション

WiseMo ファイルマネージャーのデフォルトの動作を制御します。オプションは、アクティブなセッションのファイルマネージャーユーザーインターフェイス内からも使用できます。

通信プロファイル

プログラムで使用される通信プロファイルの高度な構成が可能になります。このプログラムは、TCP、UDP を介した通信をサポートしています。

10 Windows ゲスト モジュールの更新または削除

ゲストアプリケーションの新しいバージョンまたはサービスリリースは、以前のものの上にインストールできます。

既存のインストールを更新すると、デフォルトとして構成設定とライセンスファイルが保持されます。

構成ファイル guest.xml とライセンスファイル guest.lic は通常、どちらも次のフォルダーにあります。

Program Data\WiseMo\RSM\Remote Desktop Guest

XP コンピューターでは、通常、WiseMo フォルダはここにあります (フォルダは非表示になっている場合があります)。

C:\Documents and Settings\All Users\Application Data\

デフォルトの構成設定で開始する場合は、インストール前に Guest.xml ファイルを削除できます。Guest.lic ファイルを削除すると、ゲストウィザードの開始時にライセンス情報の入力を求められます。

Windows PC またはサーバーからの WiseMo ゲストアプリケーションの削除は、他の Windows プログラムを削除する場合と同様に行われます。たとえば、[コントロール パネル] の [プログラムと機能] オプションから実行できます (正確な用語は Windows のバージョンによって異なります)。

ゲストプログラムをアンインストールしても、特定の一時ファイルやデータファイル、ライセンスファイル、構成ファイルは削除されません。こうすることで、ライセンス、構成、電話帳の定義を失うことなく、バージョンをアンインストールして新しいバージョンを再インストールできます。

11 用語集

コンピューター – ゲストまたはホストモジュールでサポートされているオペレーティングシステムを実行する任意のサーバー、ワークステーション、デスクトップ、ノートパソコン。

デバイス – ゲストまたはホストモジュールでサポートされているオペレーティングシステムを実行するスマートフォン、タブレット、セットトップボックス、スキャナ、またはその他の小型端末または無人のデバイス。

ゲスト – コンピューターまたはデバイスにインストールされているモジュール。PC、iPad、iPhone、Android デバイス上、またはサポートされているブラウザから実行します。ユーザーはゲストモジュールから、ホストモジュールが実行されている別のデバイスまたはコンピューターをリモートコントロールできます。

ホスト – ゲストモジュールからリモート制御されるターゲットコンピューターまたはデバイスにインストールされているモジュール。たとえば、PC、Mac、スマートフォン、タブレット、セットトップボックス、またはサポートされているオペレーティングシステムを実行するその他の種類のデバイスがこれに該当します。

ホスト構成マネージャー – ホストマネージャーまたはモバイルホストマネージャーとも呼ばれます。WiseMo ホストアプリケーションの構成に使用されるツール。これは Windows デスクトップコンピューターにインストールされ、デバイスが PC に USB 接続されているときにホストサービスまたはデバイスと通信します。

スキン – デバイスをリモート制御するためのグラフィカルユーザーインターフェイス。通常、これは、リモート制御されている実際のデバイスのほぼ正確なグラフィックコピーです。スキンボタンは実際のボタンのキーストロークを模倣します。スキンボタンの 1 つをクリックすると、実際のボタンをクリックした場合と同じアクションがデバイス上で実行されます。

通信プロファイル – ゲストモジュールとホストモジュール間の通信のためのプロトコル構成。ゲストからホストに接続する前に、どの通信プロファイルを使用するかをゲストで指定する必要があります。